

第6回 プレス・板金・フォーミング展

MF-TOKYO 2019



結果報告書

会期：2019 **7.31** Wed - **8.3** Sat 9:00~17:00
(8.3のみ16:00まで)

会場：東京ビッグサイト 西1・2&南1・2ホール

主催：Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会  日刊工業新聞社

関係各位

開 催 御 礼

謹 啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度は「MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・フォーミング展」の開催にあたりまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の絶大なるご支援、ご協力をいただきました本展は4日間の会期を無事終了することができました。これもひとえに、出展者各位、ご後援、特別協賛、ご協賛をいただいた関係官公庁ならびに関係諸団体のご尽力によるものと深く感謝いたしております。

さて、本展の開催模様につきましては日刊工業新聞紙面等で逐次報道いたしました。ここにその結果をまとめましたのでご報告いたします。今度とも関係各位の一層のご支援、ご指導をよろしく願い申し上げます。

謹 白

2019年9月

一般社団法人日本鍛圧機械工業会
日刊工業新聞社

- 開催名称 日本語名称 MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・フォーミング展
副題 “つながる技術、ひろがる未来”
英語名称 MF-TOKYO 2019 The 6th METAL FORMING FAIR TOKYO
- 主催 日本鍛圧機械工業会／日刊工業新聞社
- 後援 経済産業省／厚生労働省／環境省／日本貿易振興機構（ジェトロ）
- 特別協賛 日本塑性加工学会／日本鍛造協会／日本金属プレス工業協会／日本金型工業会／
日本工作機械工業会／日本ねじ工業協会／日本ばね工業会
- 協賛 日本自動車工業会／日本自動車部品工業会／レーザ加工学会／日本ロボット工業会／
日本電機工業会／日本建設機械工業会／日本溶接協会／日本精密機械工業会
- 海外協賛 中国机床工具工業協会／中国鍛圧協会／中国模具工業協会／インド工作機械工業会／
アメリカ製造技術工業会／台湾機械工業同業公会／韓国工作機械産業協会／
イタリア工作機械工業会 (以上、順不同・法人格略)
- 会期 2019年7月31日(水)～8月3日(土) 4日間
9：00～17：00 (8月3日(土)は16：00まで)
- 会場 東京ビッグサイト 西1・2&南1・2ホール
- 入場料 1,000円 ※招待券持参者及び事前登録者は無料
- 併催セミナー 開幕記念講演、特別講演、シンポジウム、学会テクニカルセミナー
出展者テクニカルセミナー、大学研究室発表会
- 開催規模 254社・団体（共同出展含め299社）1,717小間（約15,450㎡）
- 来場者数

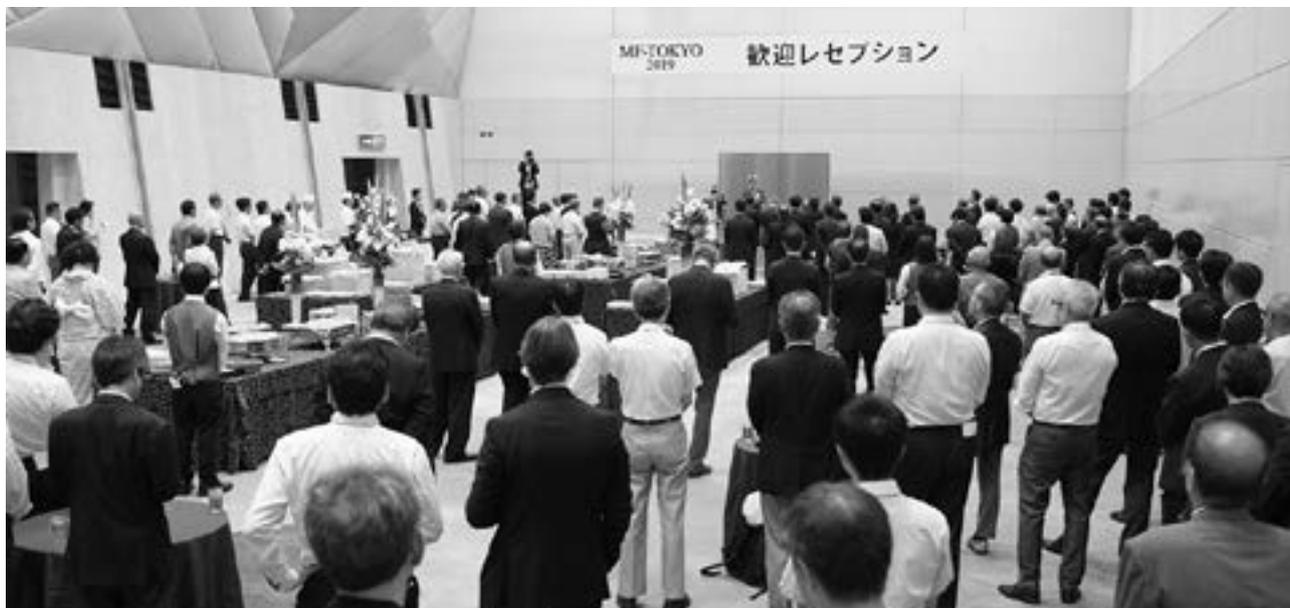
日付	天気	来場者数（うち海外来場者数）	前回同日比
7月31日(水)	☀	6,147人（469人）	-526人
8月1日(木)	☀	7,208人（286人）	-416人
8月2日(金)	☀	10,910人（194人）	+402人
8月3日(土)	☀	5,848人（69人）	-1,062人
4日間合計		30,113人（1,018人）	前回比1,602人減 （うち海外来場者8人減）

※重複無し実人数

◎ 「MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・フォーミング展」 歓迎レセプション

日 時：2019年7月31日(水) 11:30~12:30

場 所：会議棟1階 レセプションホールA



次 第：



主催者挨拶

一般社団法人
日本鍛圧機械工業会
代表理事会長

坂木 雅治



来賓祝辞

経済産業省
製造産業局
素形材産業室 室長補佐

鈴木 望 氏



特別協賛代表挨拶

一般社団法人
日本塑性加工学会
会長

米山 猛 氏



乾 杯

一般社団法人
日本鍛圧機械工業会
広報見本市委員長

宗田 世一



中締め挨拶

日刊工業新聞社
代表取締役社長

井水 治博



■ 講演・シンポジウム

会場 会議棟1F レセプションホールA・B

□ 開幕記念講演

7月31日(水)

14:00~15:00

テーマ 「将来のモビリティ社会に向けた付加価値向上に資する鍛圧技術」



■ 講師

トヨタ自動車

モノづくり開発・PJT推進部

先進コア技術開発室

プロフェッショナルパートナー

森下 弘一 氏



□ 特別講演

8月1日(木)

10:00~11:30

テーマ 「レーザ加工の真髄を探る — いま、なぜレーザか —」



■ 講師

中央大学

研究開発機構フェロー

レーザ協会

顧問

新井 武二 氏

□ シンポジウム

8月1日(木)

14:00~16:00

テーマ 「ホットスタンピングは超ハイテンの冷間プレス成形の限界を超える」



■ コーディネーター

豊橋技術科学大学

特任教授

森 謙一郎 氏

■ パネリスト

アイシン高丘

先行開発部 商品開発チーム 主担当

鈴木 貴之 氏

日本製鉄

技術開発本部 八幡技術研究部 主幹研究員

楠見 和久 氏

アミノ

開発室 課長

村井 裕城 氏

住友重機械工業

新塑性加工開発 SBU STAF-PJ

プロジェクトマネージャー

上野 紀条 氏

□ シンポジウム

8月2日(金)

14:00~16:00

テーマ 「自動車製造におけるレーザ加工の最新動向」



■ コーディネーター

光産業創成大学院大学

副学長 教授

坪井 昭彦 氏

■ パネリスト

アマダ

ブランク加工技術部 部長

杉山 明彦 氏

エイチアンドエフ

プレス技術本部 本部長

中村 一行 氏

コマツ産機

開発本部 開発1部

レーザ商品開発グループ グループ長

岡本 匡平 氏

トルンプ

レーザ技術部 部長

中村 強 氏

□ 特別講演

8月3日(土)

13:00~14:00

テーマ 「モビリティ革命2030 beyond — 自動車産業の針路 —」



■ 講師

デロイト

トーマツコンサルティング

自動車セクター シニアマネージャー

濱田 悠 氏

■ 学会テクニカルセミナー

会場:会議棟6F 605会議室

7/31 (水)	時間	講演者	発表テーマ
	9:30~10:10	豊橋技術科学大学 准教授 安部 洋平 氏	軽量部品のプレス成形、塑性接合、板鍛造の開発 【H30日本塑性加工学会 学術賞】
	10:20~11:00	川崎重工業 主事 今村 嘉秀 氏	金型レスホットスピニング成形技術の開発 【H30日本塑性加工学会 技術開発賞(一般)】
	11:10~11:50	日本製鉄 主幹研究員 西村 隆一 氏	フランジ連続化設計および加工技術の開発 【H30日本塑性加工学会 技術開発賞(一般)】
	13:00~13:40	JFEスチール 主任研究員 卜部 正樹 氏	プレス成形におけるスプリングバック要因分析技術の開発 【H30日本塑性加工学会 技術開発賞(一般)】
	16:00~16:40	タンレイ工業 係長 押野谷 明則 氏	多様な素材・形状の大型容器を実現する熱間複合精密逐次成形技術 【H30日本塑性加工学会 技術開発賞(中小企業)】

8/1 (木)	時間	講演者	発表テーマ
	9:30~10:10	東京大学 准教授 古島 剛 氏	医療用途を目指した生体吸収性マグネシウム合金薄肉極細管の革新的ダイレス引抜き加工
	10:20~11:00	東京理科大学 教授 中曽根 祐司 氏	オーステナイト系ステンレス鋼の変形誘起マルテンサイト変態及びそれを利用した非破壊検査法の開発
	11:10~11:50	東京電機大学 教授 齋藤 博之 氏	金属材料の環境劣化 -表面の被膜をめぐって-
	12:00~12:40	広島大学 名誉教授 澤 俊行 氏	ねじに係る事故例と事故防止のための締結体設計法の考え方
	12:50~13:30	本田技術研究所 研究員 白川 敦士 氏	光ファイバセンサ活用によるねじ締結体の強度特性計測技術
	16:00~16:40	静岡大学 教授 早川 邦夫 氏	製造工程を考慮した塑性加工部品の強度予測

8/2 (金)	時間	講演者	発表テーマ
	9:30~10:10	東京工業大学 教授 吉野 雅彦 氏	機械加工による鉄の結晶粒微細化
	10:20~11:00	日本大学 教授 高橋 進 氏	プレス成形の状態をIoT技術活用で観る
	11:10~11:50	大阪大学 名誉教授 片山 聖二 氏	レーザ溶接の現状と動向
	12:00~12:40	レーザ加工学会 会長 石出 孝 氏	最新AM技術とその適用
	12:50~13:30	東京農工大学 教授 桑原 利彦 氏	板材成形シミュレーションの高精度化のための材料試験法
	15:10~15:50	芝浦工業大学 教授 吉原 正一郎 氏	マグネシウム合金の塑性加工と医療機器への展開
	16:00~16:40	大阪大学 准教授 松本 良 氏	熱間鍛造におけるサーボプレスの活用

8/3 (土)	時間	講演者	発表テーマ
	9:30~10:10	電気通信大学 教授 久保木 孝 氏	管材および板材を対象とする新しい成形方法の開発
	10:20~11:00	名古屋工業大学 教授 北村 憲彦 氏	高精度鍛造や板鍛造に役立つトライボロジー技術
	11:10~11:50	日本工業大学 教授 古閑 伸裕 氏	アモルファス合金箔の打抜き加工
	12:00~12:40	日本大学 教授 星野 倫彦 氏	CFRPの温間絞り加工における温度分布の影響
	14:00~14:40	物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 設計・創造分野 分野長 井上 忠信 氏	時代に対応した材料・加工プロセス (合金化から組織制御主体の材質設計へ)
	14:50~15:30	福井大学 教授 大津 雅亮 氏	インクリメンタルフォーミング -板材の3Dプリンティング-

■ 出展者テクニカルセミナーA 会議棟6F 606会議室

時間	会社名	講演者	発表テーマ
9:30~10:10	SHIEH YIH MACHINERY INDUSTRY	サーボ技術発展部 マネージャー 許 貴彰 氏	プレスラインのスマート生産について
10:20~11:00	トルンプ	レーザー事業部 レーザ・アプリケーションセンター 3D printing & LMD 課長 岡 寛幸 氏	新型金属造形3Dプリンター「TruPrint 3000」
11:10~11:50	ファナック	FA事業部 ソフトウェア 研究所 主任 山口 剛太 氏	ファナックのモーション制御技術について
12:00~12:40	太陽メカトロニクス	太陽工業グループ 技術開発センター 技師 若井 克昭 氏	独創的な工法を支える「金型エンジニアリング」と精度を育てる「恒温工場」で新たな価値を生み出す。
12:50~13:30	ロス・アジア	マーケティング部 アシスタントマネージャー 鈴木 敏之 氏	プレス用クラッチ&ブレーキバルブのモニタ化の必要性/新開発・油空圧ダブルバルブの機械安全への展開
13:40~14:20	バイカルジャパン	代表取締役 上村 勝巳 氏	クラウニングを必要としない革命的なプレスブレーキ並びに厚板(32mm)曲げの紹介
14:30~15:10	理研 オプテック	技術顧問 清水 学 氏	理研オプテックの提案するプレス機械のIoT/見える化そしてAIへ
15:20~16:00	旭サナック	圧造機械事業部 技術部 係長 川井 敏弘 氏	圧造製品の枠を広げる機械開発事例

■ 出展者テクニカルセミナーB 会議棟6F 607会議室

時間	会社名	講演者	発表テーマ
9:30~10:10	SCSK	解析ソリューション第1部 本郷 春樹 氏	鍛造・塑性加工業界の皆様へご提供するSCSK株式会社のモノづくりCAEソリューションのご紹介
10:20~11:00	アマダオリイ	プレス営業部 中日本ブロック 副ブロック長 山本 一 氏	株式会社SUBARUと共同開発したヘリカルギアの新鍛造工法の解説
11:10~11:50	エイチアンドエフ	プレス技術本部 技術開発室 室長 西田 賢治 氏	新型サーボトランスファプレスの特徴
12:00~12:40	コーレンス	第一営業本部第一部 課長代理 山下 俊明 氏	電磁パルス技術 (EMPT) 接合の実例
12:50~13:30	コマツ産機	開発本部 開発1部 技師 正藤 勇介 氏	つながる 未来の“GEMBA”を提案
13:40~14:20	コニック	営業部 トルベンドセンターグループ 主幹 早瀬 航一 氏	トルンプ社製TruBend CenterIにおける革新的な曲げ加工について
14:30~15:10	相澤鐵工所	取締役 営業部長 星山 達郎 氏	シャーリング加工の未来
15:20~16:00	SCREEN ホールディングス	検査・計測事業室 開発課 副参事 古賀野 敦子 氏	目視検査を自動化する車載用金属部品向け外観検査装置Lulimo H・Lulimo Cのご紹介

8/1 (木)

時間	会社名	講演者	発表テーマ
9:30~10:10	SCREEN ホールディングス	検査・計測事業室 開発課 副参事 古賀野 敦子 氏	目視検査を自動化する車載用金属部品向け外観検査装置Lulimo H・Lulimo Cのご紹介
10:20~11:00	榎本機工	技術アドバイザー 五十川 幸宏 氏	サーボ駆動スクリーンプレスによるCFRTPプリプレグシートの高速度成形
11:10~11:50	住友重機械工業	産業機器事業部 プレス統括部 設計部 プレス設計G 技師 柳原 渉 氏	住友の進化する鍛造プレスで未来を拓く“FPZの誕生”
12:00~12:40	サンテスト	営業部 課長 西坂 信也 氏	油圧サーボシステムのご提案
12:50~13:30	アマダ	ベンディング開発部門 部門長 森岡 岳也 氏	人手不足を克服するための次世代ベンディング運用
13:40~14:20	村田機械	工作機械事業部 板金システム部 プロポーザルグループ 課長 西部 秀久 氏	人と機械を技術でつなぐ
14:30~15:10	シュマルツ	取締役社長 ゲッテゲンス・アーネ 氏	板金加工機の搬送におけるIoT活用と設備停止コスト1億円/年削減〜コンディションモニタリング編〜
15:20~16:00	シュマルツ	取締役社長 ゲッテゲンス・アーネ 氏	板金加工機の搬送におけるIoT活用と設備停止コスト1億円/年削減〜ツリーリングの汎用化編〜

時間	会社名	講演者	発表テーマ
9:30~10:10	日本エリコンバルザース	ツール事業部 アシスタントプロダクトマネージャー 金属フォーミング担当 内田 智也 氏	金型向け最新表面処理ソリューション
10:20~11:00	アイダエンジニアリング	営業本部 技術部 顧問 井村 隆昭 氏	FCF工法(板鍛造)の考え方と事例および工法を支える高精度・高剛性成形機ULシリーズの紹介
11:10~11:50	しのはらプレスサービス	常務取締役 営業本部長 篠原 清人 氏	プレス作業現場の環境改善への提案
12:00~12:40	ゲルブ・ジャパン	技術営業部 営業一課 課長 佐藤 典昭 氏	コイルばね+粘性ダンパー方式による皿ばね防振からの更新事例
12:50~13:30	ファナック	ロボット事業本部 技監 榎原 伸介 氏	ファナックロボットの最新技術について
13:40~14:20	トルンプ	板金機械事業部 営業技術部 部長 渡辺 基樹 氏	新型ディスクレーザ切断機「TruLaser 5030 fiber 10kW」最新加工技術について
14:30~15:10	オーセンテック	代表取締役 高田 全 氏	拭き作業から解放される洗浄機
15:20~16:00	バイカルジャパン	代表取締役 上村 勝巳 氏	クラウニングを必要としない革命的なプレスブレーキ並びに厚板(32mm)曲げの紹介

8/2 (金)

時間	会社名	講演者	発表テーマ
9:30~10:10	ケット科学研究所	営業部 掛川 瑞棋 氏	塗布した潤滑油の膜厚計測法
10:20~11:00	コマツ産機	開発本部 開発1部 技師 正藤 勇介 氏	つながる 未来の“GEMBA”を提案
11:10~11:50	オーセンテック	代表取締役 高田 全 氏	高精度の「ものづくり」のためのドイツ製最新レベラーのご紹介
12:00~12:40	SHIEH YIH MACHINERY INDUSTRY	サーボ技術発展部 マネージャー 許 貴彰 氏	プレス工場におけるスマート生産の進め方
12:50~13:30	アマダオリイ	ばね成形機本部 開発チーム 下村 修 氏	引きばね成形機・両端フック同時成形の最新鋭機紹介
13:40~14:20	阪村機械製作所	設計部 主任 田村 大樹 氏	顧客価値をもたらすフォーマー及びその周辺技術〜打痕傷防止ライン〜
14:30~15:10	放電精密加工研究所	産業メカトロニクス事業部 次長 高橋 竜哉 氏	ボールネジ直動式サーボプレスZENFormerによるマルチマテリアル対応
15:20~16:00	ゲルブ・ジャパン	技術営業部 技術課 プロジェクトエンジニア 山口 悠樹 氏	サーボプレス向防振システムの課題と解決事例

時間	会社名	講演者	発表テーマ
9:30~10:10	ティワイアンシエイツ	取締役 山本 隆久 氏	金型段取り(ゼロ)曲げ加工
10:20~11:00	アマダ	開発本部 開発1部 技師 近藤 章夫 氏	加工技術がもたらす新たなモノづくり変革
11:10~11:50	ロス・アジア	マーケティング部 アシスタントマネージャー 鈴木 敏之 氏	プレス用クラッチ&ブレーキバルブのモニタ化の必要性/新開発・油空圧ダブルバルブの機械安全への展開
12:00~12:40	旭サナック	金型事業部 赤林 将 氏	アルミ材の圧造加工に関する調査報告
12:50~13:30	澁谷工業	サイラス技術部 主管技師 山岡 圭一 氏	金属素材の多様化とレーザ加工技術
13:40~14:20	栗本鐵工所	コンポジットプロジェクト室 技術開発部長 込山 隆士 氏	CFRPプレスの開発〜4ポイントLFT-D成形
14:30~15:10	アミノ	技術部 営業技術課 課長代理 佐野 敏明 氏	ホットスタンピング・CFRTPへのサーボプレス活用のご紹介
15:20~16:00	万陽	代表取締役社長 塩川 万造 氏	最新の切断機について

■ 出展者テクニカルセミナーC 会議棟6F 608会議室

7/31 (水)	時間	会社名	講演者	発表テーマ
	9:30~10:10	サンテスト	営業部 課長 西坂 信也 氏	油圧サーボシステムのご提案
	10:20~11:00	オーセンテック	代表取締役 高田 全 氏	「働き方改革」を促進するための設備導入 パリ取り機・洗浄機・ロボット・その他
	11:10~11:50	アマダ	blanks加工技術部 副部長 宮淵 城之 氏	新しい光技術が加工の未来を拓く
	12:00~12:40	マコー	営業部 営業技術課 課長 橋 和寿 氏	冷間鍛造の世界を劇的に変える革新ライン「WLS」
	12:50~13:30	阪村機械製作所	技術部 係長 岡田 泰雄 氏	顧客価値をもたらすフォーマー及びその周辺技術～背圧鍛造による成形～
	13:40~14:20	理研 オプテック	技術顧問 清水 学 氏	理研オプテックの提案するプレス機械のIoT/見える化そしてAIへ
	14:30~15:10	ゲルプ・ジャパン	Director / Sales Manager Asia カーステン・シャントレイン 氏	世界最大級大型 プレス防振の実績紹介 通訳有り
	15:20~16:00	SMS group	Head of Sales Ring and Wheel Rolling / Forging Plants Mr. Martin Gellhaus	リング圧延機開発最新線 通訳有り

8/1 (木)	時間	会社名	講演者	発表テーマ
	10:20~11:00	コマツ産機	開発本部 開発1部 主任技師 吉村 良太 氏	コマツ産機鍛圧商品の最新技術動向
	11:10~11:50	旭サナック	金型事業部 課長 森田 真 氏	金型負荷を低減する金型開発事例
	12:00~12:40	SHIEH YIH MACHINERY INDUSTRY	サーボ技術発展部 マネージャー 許 貴彰 氏	プレス設備メーカーが提供すべき、スマート生産サポート
	12:50~13:30	アルファTKG	代表取締役社長 取締役CTO 高木 俊郎 氏 ダナバンディ・ペリアサミ 氏	板金IoT成功事例紹介 (成功に必要なボトムアップIoTとは..)
	13:40~14:20	向洋技研	技術部 課長 寶山 和生 氏	利益を生み出すテーブルスポット溶接機
	14:30~15:10	コニック	製造部 プレスブレーキ型グループ 部長 松山 徹二 氏	プレスブレーキ用特殊金型設計事例のご紹介
	15:20~16:00	SMS group	Head of Sales Ring and Wheel Rolling / Forging Plants Mr. Martin Gerhard Scholles Senior Sales Manager Closed-Die Forging Presses and Powder Presses Mr. Klaus Merkens	アルミ製サスペンション 周辺部品生産用鍛造ラインの最新コンセプト 通訳有り

8/2 (金)	時間	会社名	講演者	発表テーマ
	9:30~10:10	バイカルジャパン	代表取締役 上村 勝巳 氏	クラウニングを必要としない革命的なプレスブレーキ並びに厚板(32mm)曲げの紹介
	10:20~11:00	エフエーサービス	IoT推進事業部 事業部長 麻生 正樹 氏	最新新技術 (IoT・ビッグデータ・AI) を活用して世界をリードできる「日本の板金ものづくり」
	11:10~11:50	ヤマザキマザック	オプトニクスプロダクトプロダクトマネージャー 杉浦 昌弘 氏	長尺材レーザ加工の新提案
	12:00~12:40	SCREENホールディングス	検査・計測事業室 開発課 副参事 古賀野 敦子 氏	目視検査を自動化する車載用金属部品向け外観検査装置Lulimo H・Lulimo Cのご紹介
	12:50~13:30	ニッセー	エピルト・イタリア社 シモーネ・ファリーナ 氏	NISSEI EVIRTブランドのCNC 転造機の特徴について
	13:40~14:20	ファナック	FA事業部 ソフトウェア研究所 主任 山口 剛太 氏	ファナックのモーション制御技術について
	14:30~15:10	住友重機械工業	STAFプロジェクト 営業技術Gグループリーダー 石塚 正之 氏	STAF (Steel Tube Air Forming) プロセスによる自動車部品適用技術
	15:20~16:00	コーレンス	Vice President Sales Asia Mr. Matthias Grauer	Industry 4.0 通訳有り

■ 日本塑性加工学会研究室研究発表 西ホール1階アトリウム内

7/31 (水)	時間	研究室・発表者名	発表タイトル
	13:00~13:15	一般社団法人 日本塑性加工学会 事務局局長 吉武 明英 氏	日本塑性加工学会の紹介
	13:20~13:35	豊橋技術科学大学 極限成形システム研究室 准教授 安部 洋平 氏	豊橋技術科学大学 極限成形システム研究室の紹介
	13:40~13:55	金沢大学 人間・機械創造研究室 教授 米山 猛 氏	熱可塑性CFRPの塑性加工
	15:00~15:15	慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 大家研究室 専任講師 大家 哲朗 氏	成形シミュレーション関連技術を中心とした当研究室の研究紹介
	15:20~15:35	木更津高専 ロボットものづくり研究室 准教授 関口 明生 氏	弾性体を用いた逐次逆張り出し成形
	15:40~15:55	長野工業高等専門学校 宮崎研究室 専攻科 生産環境システム専攻2年 八田 祥 氏	衝撃現象を利用した塑性加工の一例
	16:00~16:15	成蹊大学 理工学部 システムデザイン学科 材料力学研究室 教授 酒井 孝 氏	成蹊大学 理工学部 システムデザイン学科 材料力学研究室における取り組み

8/1 (木)	時間	研究室・発表者名	発表タイトル
	10:00~10:15	東京電機大学 塑性加工研究室 (柳田研究室) 教授 柳田 明 氏	加工による素材の高機能化と塑性現象の応用
	10:20~10:35	東京工業大学 吉野研究室 助教 中川 佑貴 氏	東京工業大学吉野研究室の紹介
	10:40~10:55	横浜国立大学 塑性加工研究室 准教授 前野 智美 氏	いろいろなホットスタンピング
	13:00~13:15	東京大学 生産技術研究所 古島研究室 准教授 古島 剛 氏	金型を用いない革新的なダイスフォーミングに関する研究
	13:20~13:35	静岡大学 塑性加工研究室 (田中・早川・吉田研究室) 教授 田中 繁一 氏	静岡大学における塑性加工、塑性力学研究の紹介
	13:40~13:55	茨城大学 伊藤吾朗・小林純也研究室 助教 小林 純也 氏	6000系アルミニウム合金のスピニング加工
	15:20~15:35	東京農工大 桑原研究室 教授 桑原 利彦 氏	金属・樹脂材料の多軸応力試験法と材料モデリング

8/2 (金)	時間	研究室・発表者名	発表タイトル
	10:00~10:15	早稲田大学 鈴木研究室 博士後期課程2年 岸本 拓磨 氏	金属極細管の内面形状をブラグレスで高精度に制御するセミダイス加工
	10:20~10:35	板材成形分科会 東京農工大 教授 桑原 利彦 氏	匠の技と成形シミュレーションの融合による高付加価値化の表現
	11:00~11:15	国士館大学 理工学部 教授 大橋 隆弘 氏	摩擦攪拌成形とそのアプリケーションのご紹介
	13:00~13:15	首都大学東京 先端材料加工学研究室・微細加工研究所 教授 楊 明 氏	マイクロプレス加工
	13:20~13:35	東京・南関東支部 技術支援アドバイザー委員会 委員長 真鍋 健一 氏	ものづくり相談 お気軽に
	15:40~15:55	芝浦工業大学 生産加工プロセス研究室 教授 青木 孝史朗 氏	加工による材料特性の評価

8/3 (土)	時間	研究室・発表者名	発表タイトル
	11:00~11:15	日本大学 理工学機械学科 塑性加工研究室 教授 星野 倫彦 氏	難燃性マグネシウム合金の絞り加工における成形性の調査
	11:40~11:55	鍛造分科会 名古屋工業大学 教授 北村 憲彦 氏	鍛造分科会の活動紹介 -高精度・高機能な鍛造品を目指す産学官情報の交換・人材育成-
	12:00~12:15	福井大学 材料加工研究室 (大津・岡田・三浦研究室) 教授 大津 雅亮 氏	福井大学材料加工研究室の紹介

□講演会・シンポジウム



□学会テクニカルセミナー

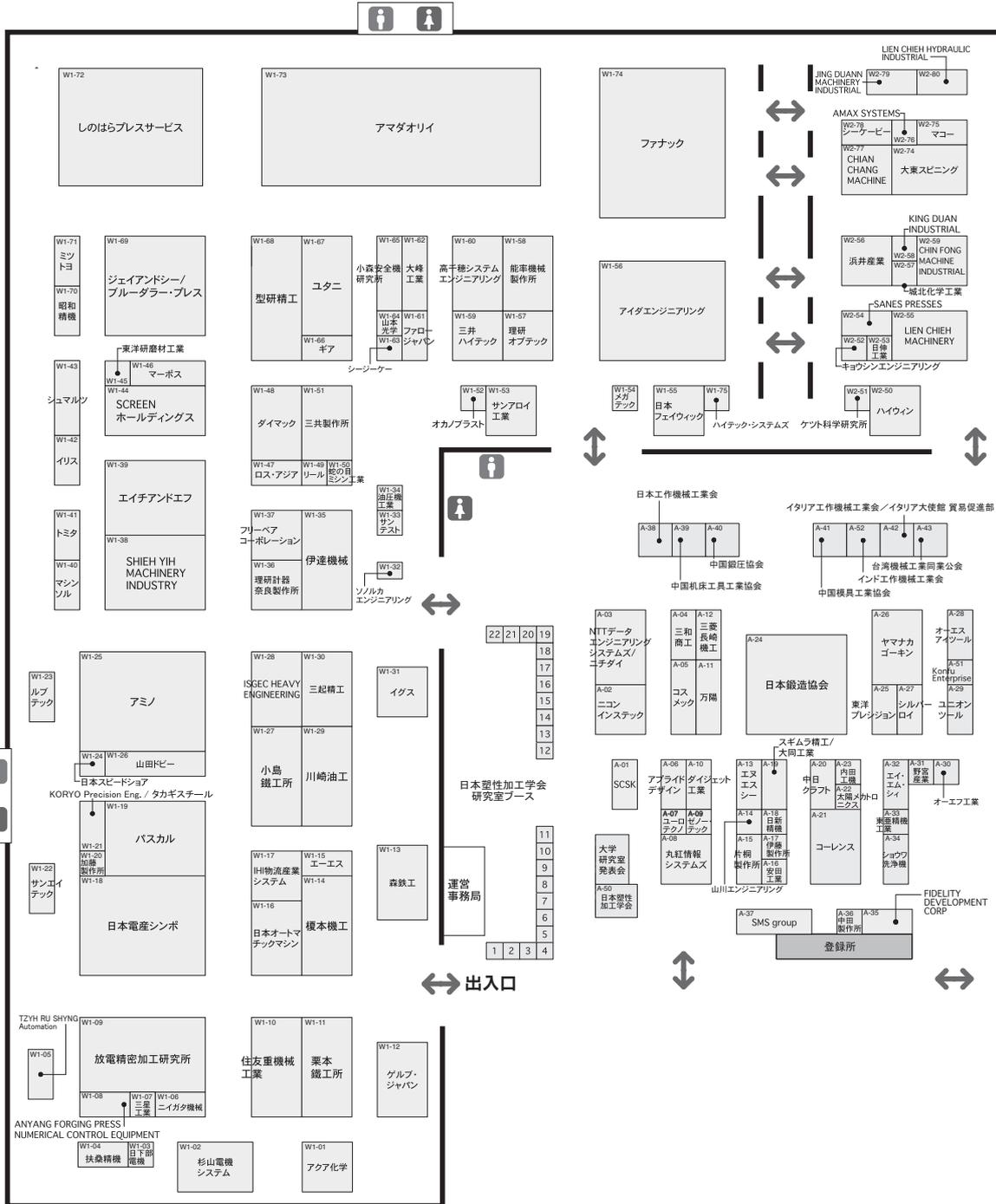


□出展者テクニカルセミナー



□日本塑性加工学会研究室研究発表

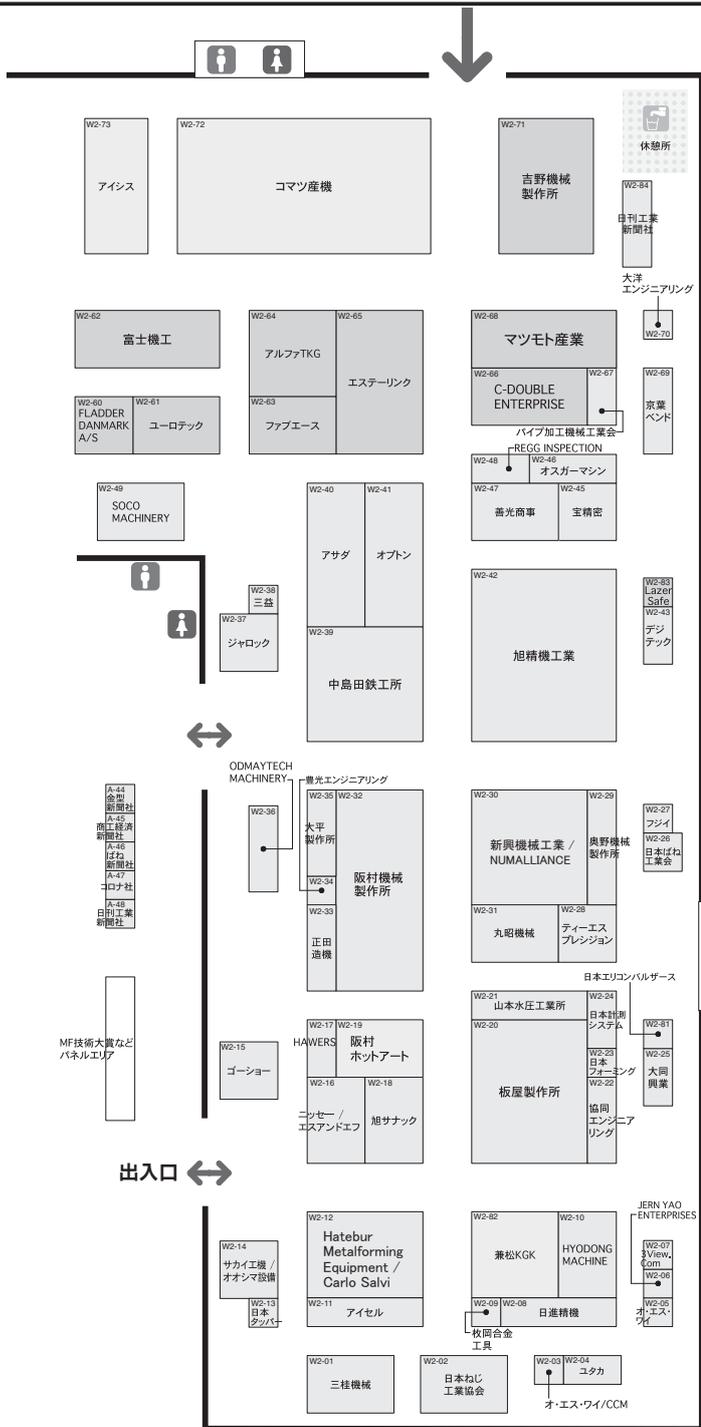




西1ホール

■出展者一覧 (50音順・法人格略) ※は共同出展者

小間No.	出展者名	小間No.	出展者名	小間No.	出展者名
W1-17	IH物流産業システム	A-23	内田工機	W2-46	オスガーマシン
S-09	相澤鐵工所	A-32	エイ・エム・シー	W2-41	オプトン
W2-73	アイシス	W1-39	エイチアンドエフ	A-15	片桐製作所
W2-11	アイセル	S-12	エイム	W1-68	型研精工
W1-56	アイダエンジニアリング	W1-15	イーエス	W1-20	加藤製作所
S-18	英田エンジニアリング	S-07	エコールド・ジャパン	A-44	金型新聞社
W1-01	アクア化学	W2-16	エスアンドエフ※	W2-82	兼松KGK
W2-40	アサダ	A-37	SMS group	W1-29	川崎油工
W2-18	旭サナック	S-01	エスガディア	W1-66	ギア
W2-42	旭精機工業	A-01	SCSK	S-41	キャディ
A-06	アプライドデザイン	W2-65	エステーリンク	S-32	キャドマック
S-17	アマダ	A-13	エヌエスシー	W2-52	キョウシンエンジニアリング
W1-73	アマダオリイ	A-03	NTTデータエンジニアリングシステムズ	W2-22	協同エンジニアリング
W1-25	アミノ	W1-14	榎本機工	S-24	協和マシン
W2-64	アルファTKG	S-42	エフエーサービス※	S-13	旭光製作所
S-03	イージーデータジャパン※	W2-03-05	オ・エス・ワイ	W1-03	日下部電機
S-30	Eプラン	A-28	オーエスアイツール	A-13	桶精工※
W1-31	イグス	A-30	オーエフ工業	S-22	グリーンプラス
W2-20	板屋製作所	W2-14	オオシマ設備※	W1-11	栗本鐵工所
S-14	イチグチ	S-25	オーセンテック	S-35	群協製作所
A-17	伊藤製作所	W1-62	大峰工業	W1-11	ケイエステック※
W1-42	イリス	W1-52	オカノプラスト	W2-69	京葉バンド
S-20	WEL-KEN	W2-29	奥野機械製作所	W1-67	KHエンジニアリング※

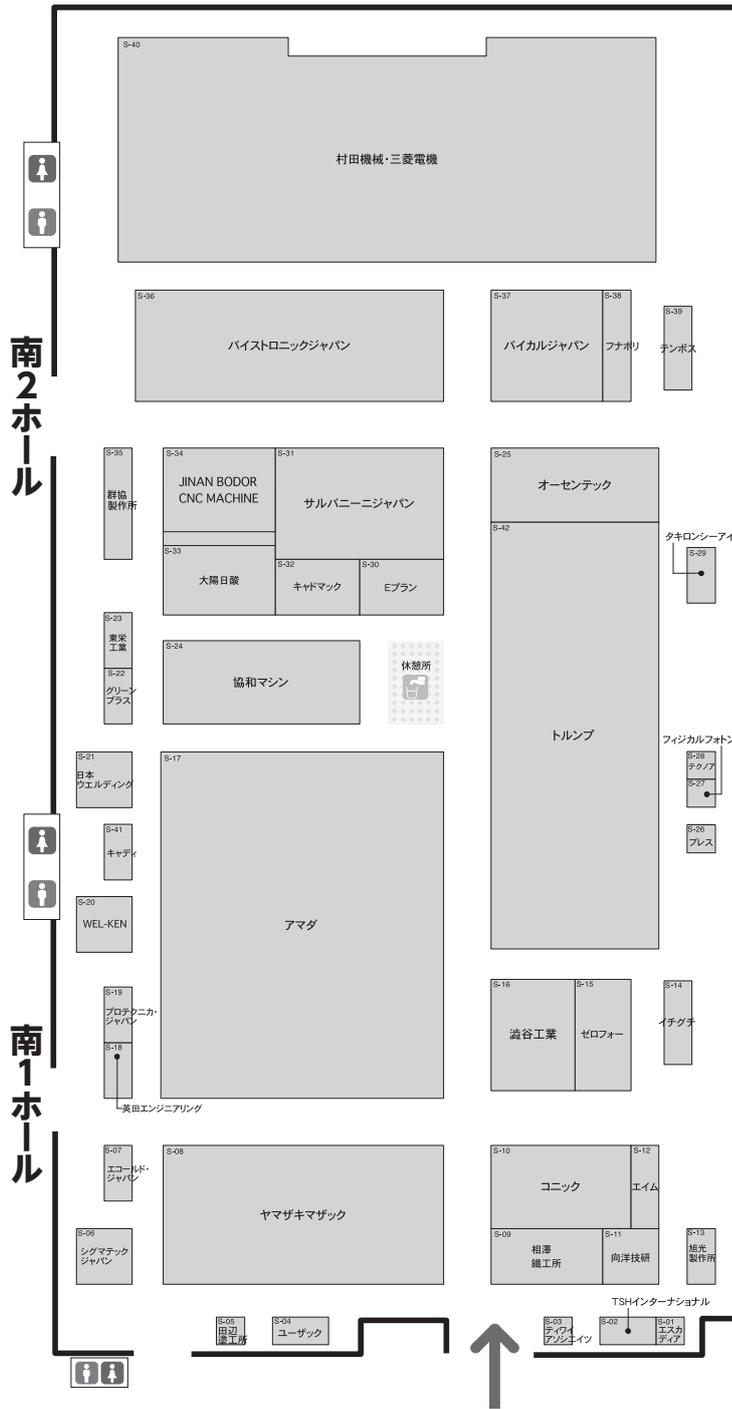


西2ホール

小間No.	出展者名
S-37	スケアビー・マシン・インターナショナル※
W1-10	住友重機械工業
A-09	ゼノー・テック
S-15	ゼロフォー
W2-47	善光商事
W1-32	ソルカエンジニアリング
A-10	ダイジェット工業
W2-25	大同興業
A-19	大同工業
W2-74	大東スピニング
W2-35	大平製作所
W1-48	ダイマック
W2-70	大洋エンジニアリング
S-33	太陽日酸
A-22	太陽メカトロニクス
W1-21	タカギスチール
W1-60	高千穂システムエンジニアリング
W2-45	宝精密
S-29	タキロンシーアイ
W1-35	伊達機械
S-05	田辺製作所
A-20	中日クラフト
S-02	TSHインターナショナル
W2-28	ティーエスプレジジョン
S-03	ティワイアソシエイツ
S-28	テクノア
W2-43	デジテック
S-39	テンボス
A-33	東亜精機工業
S-23	東栄工業
W1-45	東洋研磨材工業
A-25	東洋プレジジョン
W1-41	トミタ
S-42	トルンプ
W2-39	中島田鉄工所
A-36	中田製作所
W1-06	ニイガタ機械
A-02	ニコン※
A-02	ニコンインステック
A-03	ニチダイ
A-48/W2-84	日刊工業新聞社
W2-53	日伸工業
A-18	日新精機
W2-08	日進精機
W2-16	ニッセー
W2-13	日本タッパー
S-21	日本ウエルディング
W2-81	日本エリコンバルザース
W1-16	日本オートマチックマシン
W2-24	日本計測システム
W1-24	日本スピードショア
W1-18	日本電産シンボ
W1-55	日本フェイウィック
W2-23	日本フォーミング
W1-58	能率機械製作所
A-31	野宮産業
W2-50	ハイウイン
S-37	バイカルジャパン
S-36	バイストロニックジャパン
W1-75	ハイテック・システムズ
W2-67	パイプ加工機械工業会
W1-19	パスカル
A-46	ばね新聞社
W2-56	浜井産業
W2-09	枚岡合金工具
W1-74	ファナック
W2-63	ファブエース
W1-61	ファロージャパン
S-27	フィジカルフォトン
W2-27	フジイ
W2-62	富士機工
W2-01	藤製作所※
W1-04	扶桑精機
S-38	フナボリ
W1-37	フリーベアコーポレーション
W1-69	ブルーダラー・プレス
S-26	プレス
S-19	プロテックニカ・ジャパン
W1-60	ベスト※
W2-39	豊栄工業※
W2-34	豊光エンジニアリング
W1-09	放電精密加工研究所
W1-46	マーボス
W2-75	マコー
W1-40	マシンソル
W2-68	マツモト機械※
W2-68	マツモト産業
W2-01	マツモトマシナリー※
W2-31	丸昭機械
A-08	丸紅情報システムズ
A-11	万陽
W1-59	三井ハイテック
W1-71	ミットヨ
W2-39	三菱機工※
S-40	三菱電機
A-12	三菱長崎機工
W1-07	三星工業
S-40	村田機械
W1-54	メガテック
W1-13	森鉄工
A-16	安田工業
A-14	山川エンジニアリング
S-08	ヤマザキマザック
W1-24	ヤマシタワークス※
W1-26	山田ドビー

小間No.	出展者名	小間No.	出展者名
W2-51	ケツト科学研究所	W2-39	三明製作所※
W1-12	ゲルブ・ジャパン	A-04	三和商工
S-11	向洋技研	W2-78	シーケービー
W2-15	ゴーション	W1-63	シーケーケー
A-21	コーレンス	W1-69	ジェイアンドシー
W1-27	小島鐵工所	S-06	シグマテックジャパン
A-05	コスメック	W1-72	しのはらプレスサービス
S-10	コニック	S-16	澁谷工業
W2-72	コマツ産機	W1-50	蛇の目マシン工業
W1-65	小森安全機研究所	W2-37	ジャロック
A-47	コロナ社	W1-43	シュマルツ
W2-14	サイイ工機	A-45	商工経済新聞社
W2-32	阪村機械製作所	W2-33	正田造機
W2-19	阪村ホットアート	W2-57	城北化学工業
S-31	サルパニーニジャパン	W2-57	城北化学トレーディング※
W1-53	サンアロイ工業	W1-70	昭和精機
W1-22	サンエイテック	A-34	シヨウワ洗浄機
W2-38	三益	A-27	シルバロイ
W1-30	三起精工	W2-30	新興機械工業
W1-51	三共製作所	W2-80	新明和機工※
W2-74	産業技術総合研究所※	A-19	スギムラ精工
W2-01	三柱機械	W1-02	杉山電機システム
W1-33	サンテスト	W1-44	SCREENホールディングス

※次ページに続く



小間No.	出展者名
W2-66	KANFON TECHNOLOGY※
W2-58	KING DUAN INDUSTRIAL
A-51	Konfu Enterprise
W1-21	KORYO Precision Eng.
W2-83	Lazer Safe
W2-80	LIEN CHIEH HYDRAULIC INDUSTRIAL
W2-55	LIEN CHIEH MACHINERY
W2-30	NUMALLIANCE※
W2-36	ODMAYTECH MACHINERY
W1-41	Ortlinghaus-Werke※
A-21	Otto Bihler Maschinenfabrik※
W2-40	Plus Springs Group※
A-21	PSTproducts※
S-19	RCS※
W2-48	REGG INSPECTION
W2-54	SANES PRESSES
W2-78	SCHULER PRESSEN※
W1-38	SHIEH YIH MACHINERY INDUSTRY
A-31	Shuz Tung Machinery Industrial※
W2-49	SOCO MACHINERY
W2-07	3View. Com
W1-05	TZYH RU SHYNG Automation
A-21	WAFIOS※
A-21	WAFIOS Tube Automation※
W2-40	Yih Shen Machinery※
A-50	日本塑性加工学会 板材成形分科会 茨城大学 伊藤吾朗・小林純也研究室 金沢大学 人間・機械創造研究室 木更津工業高等専門学校 ロボットものづくり研究室 慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 大家研究室 国土院大学 変形工学研究室 静岡大学 塑性加工研究室 (田中・早川・吉田研究室) 芝浦工業大学 生産加工プロセス研究室 首都大学東京 先端材料加工工学研究室 微細加工研究所 成蹊大学 理工学部 システムデザイン 学科 材料力学研究室 鍛造分科会 東京工業大学 吉野研究室 東京大学生産技術研究所 変形加工工学研究室 東京電機大学 塑性加工研究室(柳田研究室) 東京農工大学 桑原研究室 東京・南関東支部技術アドバイザー 豊橋技術科学大学 極限成形システム研究室 長野工業高等専門学校 宮崎研究室 日本大学 理工学部 機械工学科 塑性加工研究室 福井大学 大津・岡田・三浦研究室 横浜国立大学 塑性加工研究室 早稲田大学 鈴木研究室
A-24	日本鍛造協会 アサヒフォージ イチタン インダクトサムグループジャパン ウチノ 大智鍛造所 大塚鉄工 九州イチタン 近畿鍛造工業協同組合 グループ・ジャパン ゴーシュー サムテック シンニッタ セイタン 知多工業 TDF Toa & Arai 東亜鍛造所・新井工業 東京鍛造工業協同組合 東福鍛工 國南鍛工 浪速鉄工 ノリタケカンパニーリミテド フックスジャパン 豊和鍛工 北陸工業 万能工業 三井E&Sパワーシステムズ ミヤジマ 明治製作所 メタルアート 八木工業
A-38	日本工作機械工業会
W2-02	日本ねじ工業協会
W2-26	日本ばね工業会
	【海外協賛団体】
A-39	中国机床工具工業協会
A-40	中国鍛造協会
A-41	中国模具工業協会
A-52	インド工作機械工業会
A-43	台湾機械工業同業公会
A-42	イタリア工作機械工業会
A-42	イタリア大使館 貿易促進部※

■出展者一覧 (50音順・法人格略) ※は共同出展者

※前ページから

小間No.	出展者名	小間No.	出展者名
A-26	ヤマナカゴーキン	W2-12	Carlo Salvi※
W1-64	山本光学	W2-66	C-DOUBLE ENTERPRISE
W2-21	山本水圧工業所	W2-25	CHENG I DRAWING MACHINERY※
W1-34	油圧機工業	W2-77	CHIAN CHANG MACHINE
S-04	ユーザック	W2-59	CHIN FONG MACHINE INDUSTRIAL
A-07	ユーロテクノ	W2-03	Ching Chan Optical Technology(CCM)※
W2-61	ユーロテック	W2-40	Dees Hydraulic Industrial※
W2-04	ユタカ	W2-25	ELITE MACHINE AND DESIGN※
W1-67	ユタニ	W2-78	ERNST GROB※
A-29	ユニオンツール	W1-42	Felss Group※
W2-71	吉野機械製作所	A-35	FIDELITY DEVELOPMENT CORP
W1-49	リール	W2-60	FLADDER DANMARK
W1-57	理研オプテック	W1-55	GOIZPER Group※
W1-36	理研計器奈良製作所	W2-12	Hatebur Metalforming Equipment
S-26	ルーヴェル※	W2-17	HAWERS
W1-23	ルプテック	W2-10	HYODONG MACHINE
W1-47	ロス・アジア	A-21	imess※
W2-40	AIM※	W1-28	ISGEC HEAVY ENGINEERING
W2-76	AMAX SYSTEMS	W2-06	JERN YAO ENTERPRISES
W1-42	ANDRITZ Kaiser	S-34	JINAN BODOR CNC MACHINE
W1-08	ANYANG FORGING PRESS NUMERICAL CONTROL EQUIPMENT	W2-79	KING DUANN MACHINERY INDUSTRIAL

□ 東京ビッグサイト入口看板



□ メインエントランス



□ 西ホール アトリウム



□ 西1ホール



□ 西2ホール



□ 南1ホール



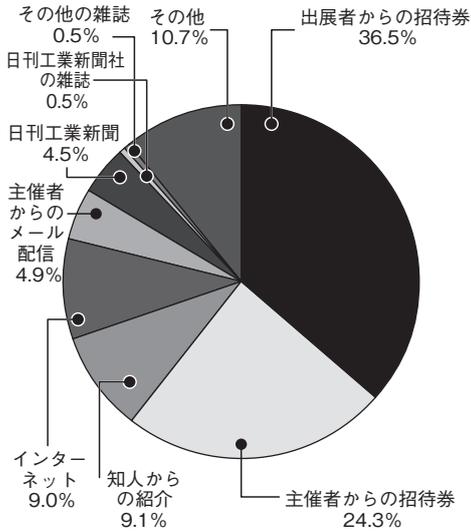
□ 南1・2ホール



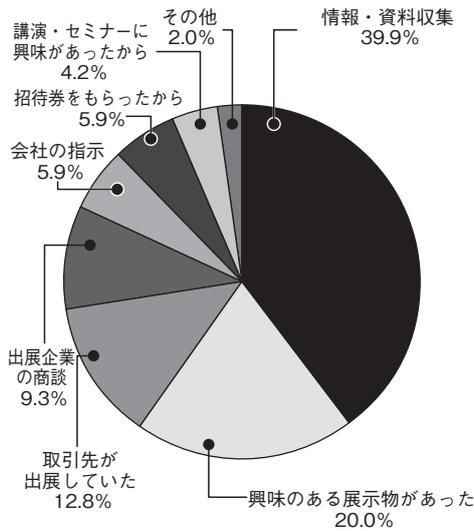
□ 南2ホール



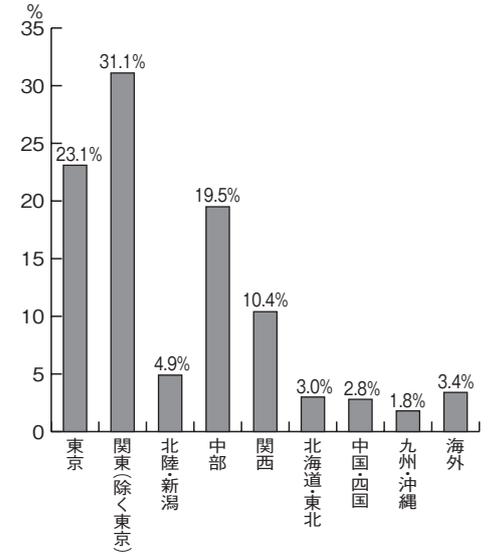
□本展を何で知りましたか？



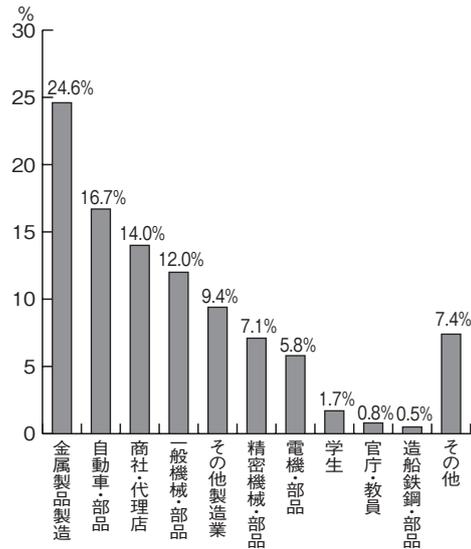
□本展に来られた理由は何ですか？



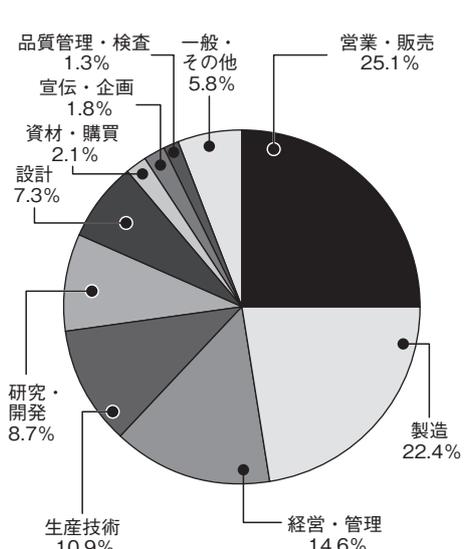
□どちらから来られましたか？



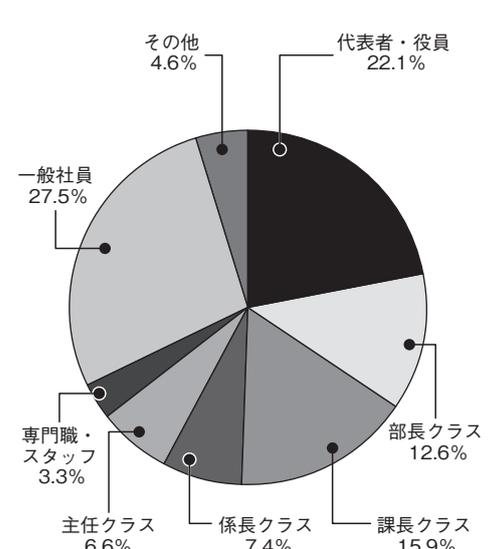
□業種は？



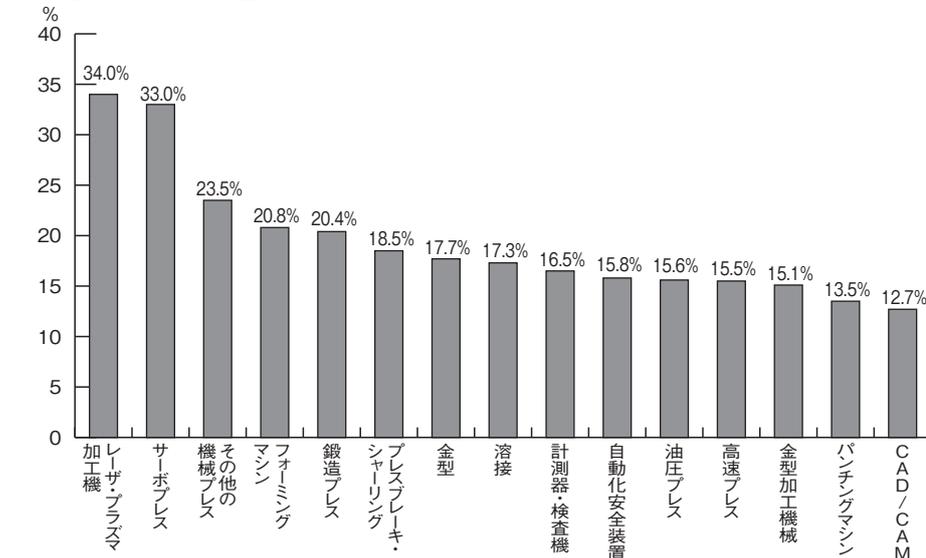
□職種は？



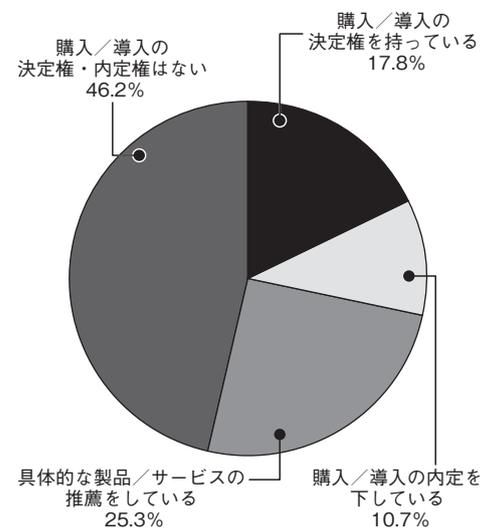
□役職は？



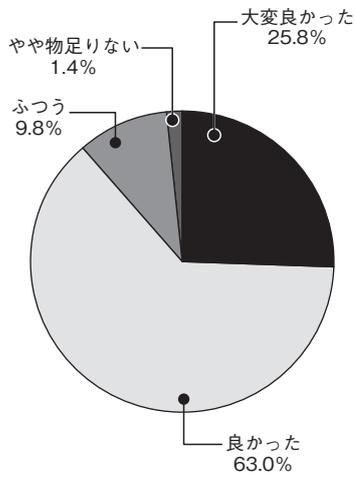
□関心をもった機種は何ですか？(複数回答可)



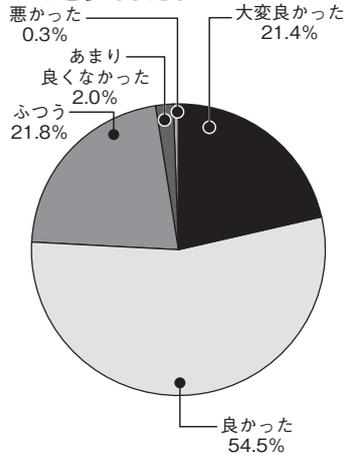
□製品導入に際してどのように関与されていますか？



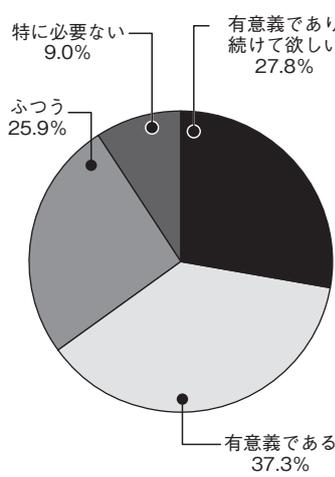
□ 本展示会の会場構成の感想をお聞かせください



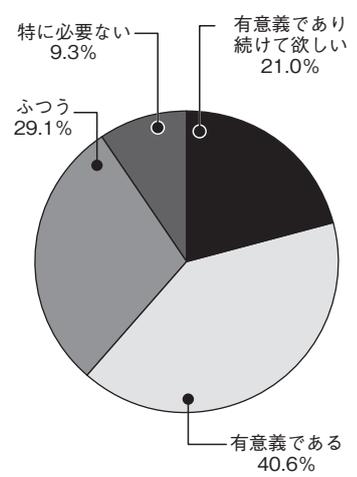
□ 会場内のサービス施設 (受付、案内看板、休憩所、ウォーターサーバー他) や会場の雰囲気はどうでしたか?



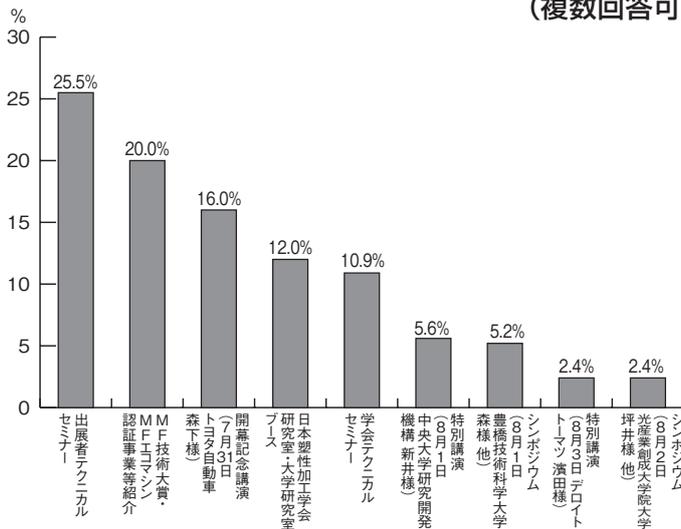
□ 日本塑性加工学会をはじめとした「学会テクニカルセミナー」を開催しましたがいかがでしたか?



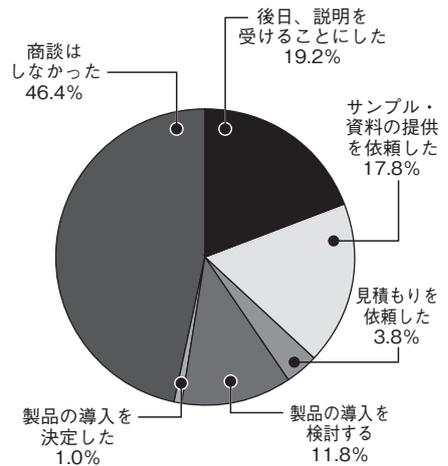
□ 日本塑性加工学会にご協力頂き、大学研究ブースを設けましたがいかがでしたか?



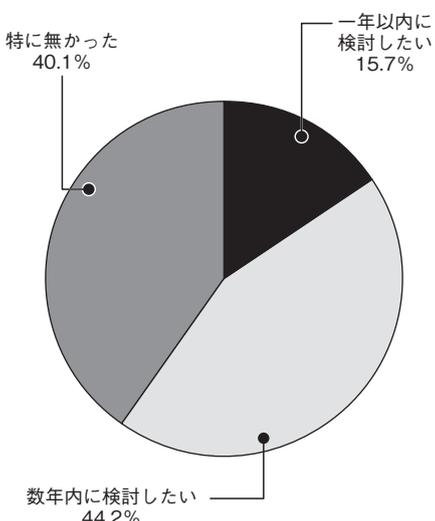
□ 併催事業・主催者企画でよかったものは何ですか? (複数回答可)



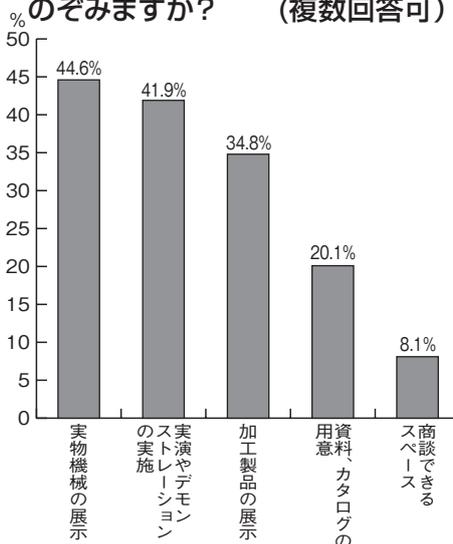
□ 今回、会場で商談されましたか?



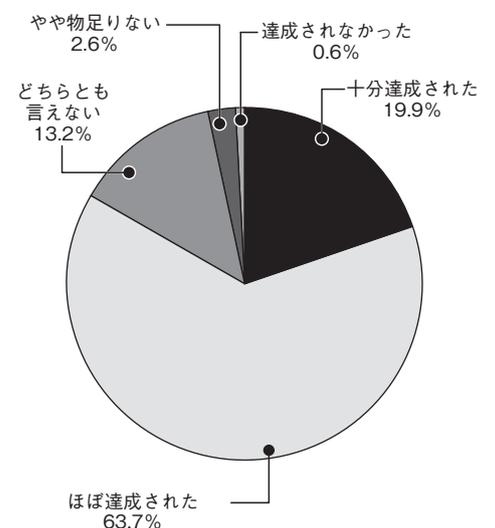
□ 出展製品の中で、購入(導入)したいものはありましたか?



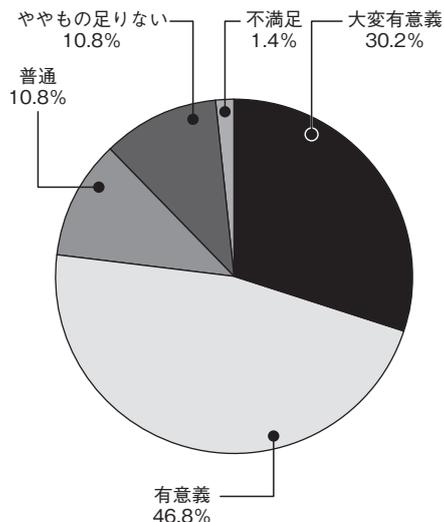
□ 出展者に対して、どのようなことをのぞみますか? (複数回答可)



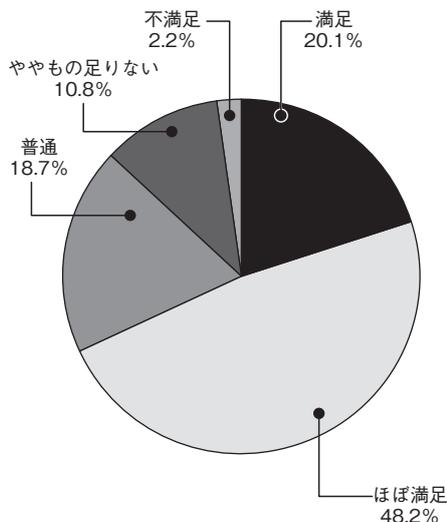
□ ご来場の目的は達せられましたか?



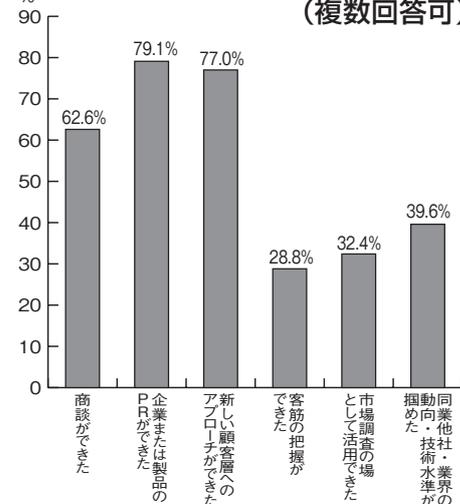
□本展に出展した全体的感想について



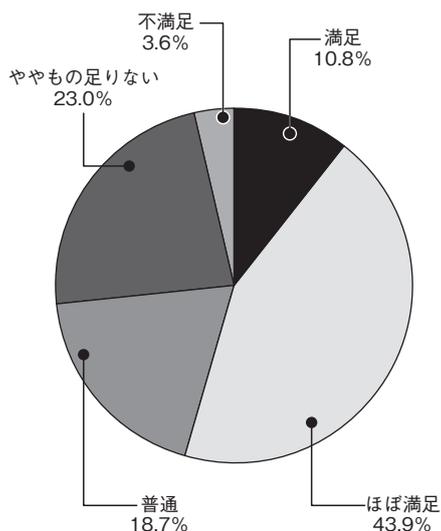
□出展効果について
(a)成約・引き合いについて



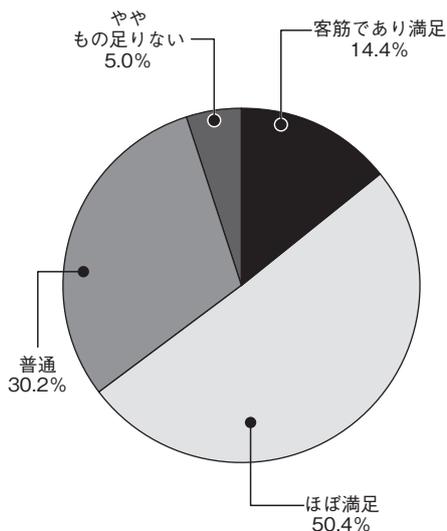
□出展効果について
(b)その他の効果について
(複数回答可)



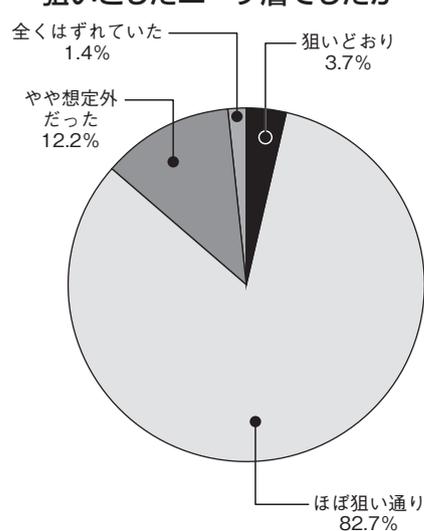
□来場者数について



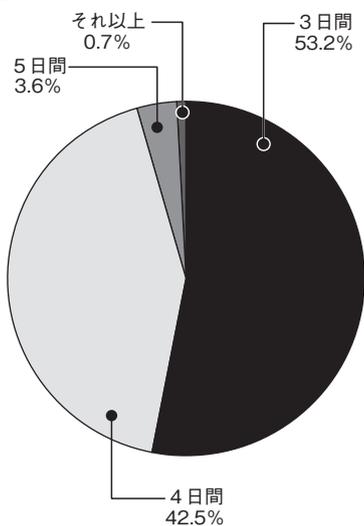
□来場者層について



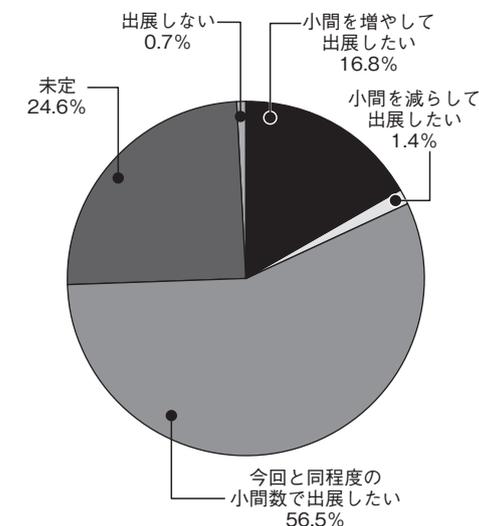
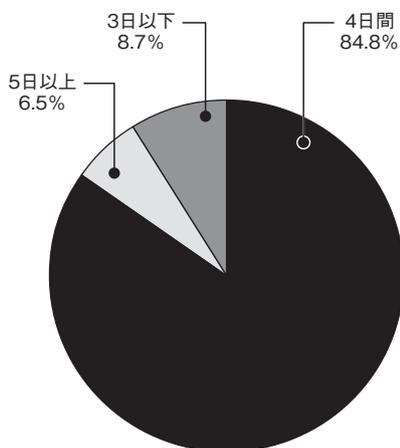
□説明を聞いていただいた来場者は狙いとしたユーザ層でしたか



□開催期間については何日間が望ましいですか？



□搬入期間は何日よろしいですか？ □次回の出展について



【記事】

種別	媒体名	掲載日	記事内容・タイトル	発行・出版元		
新聞	日刊工業新聞	7/1	社告 MF-TOKYO特別紙面編成のお知らせ	日刊工業新聞社		
		7/1	MF-TOKYO 2019開催インタビュー① 日本鍛圧機械工業会			
		7/2	インタビュー② コマツ産機			
		7/3	インタビュー③ トルンプ			
		7/4	インタビュー④ エイチアンドエフ 日本電産シンボ			
		7/5	インタビュー⑤ 澁谷工業 放電精密加工研究所			
		7/8	インタビュー⑥ アミノ サルバニーニジャパン			
		7/9	インタビュー⑦ 阪村機械 協和マシン			
		7/11	インタビュー⑧ 榎本機工 コニック			
		7/12	インタビュー⑨ オーセンテック 三起精工			
		7/17	インタビュー⑩ アイダエンジニアリング 小島鐵工所			
		7/17	紙上レビュー① ユタニ サンアロイ工業 富士機工 シルバーロイ 協和マシン			
		7/18	インタビュー⑪ 村田機械			
		7/18	紙上レビュー② アミノ エイチアンドエフ ユタカ 型研精工 榎本機工			
		7/19	インタビュー⑫ 日本塑性加工学会 日本鍛造協会			
		7/19	紙上レビュー③ オーセンテック ニッセー リール 三益			
		7/22	インタビュー⑬ 旭サナック 山田ドビー			
		7/22	紙上レビュー④ アイダエンジニアリング 扶桑精機 ゼロフォー バイストロニックジャパン 三起精工			
		7/23	インタビュー⑭ 三菱電機			
		7/23	紙上レビュー⑤ 大東スピニング 向洋技研 マコニ オスガーマシン SHIEH YIH MACHINERY INDUSTRY			
		7/24	インタビュー⑮ 旭精機工業 しのはらプレスサービス			
		7/24	紙上レビュー⑥ 三菱電機 放電精密加工研究所 トルンプ オプトン ロス・アジア			
		7/25	インタビュー⑯ ファナック			
		7/25	紙上レビュー⑦ しのはらプレスサービス ジャロック ファナック 村田機械 タイマック			
		7/26	インタビュー⑰ ヤマザキマザック			
		7/29	インタビュー⑱ アマダホールディングス			
		7/31	第1面 きょう開幕			
		7/31	最終面「深層断面」鍛圧機械 先端技術で支える			
		8/1	第1面 MF-TOKYO開幕			
		8/1	機械面 次世代技術でモノづくり 他			
		8/1	最終面 現場に寄りそう技術「深化」			
		8/2	機械面 海外勢、独自色魅せる パワーに加え先端技術 差別化、日本でアピール 他			
		8/5	第2面 「MF展」閉幕			
		8/5	社告 無事閉幕のお礼			
		7/25	特集ページ			
		日本物流新聞	8/25		MF-TOKYO2019 プレイバック (上)	日本物流新聞社
			9/10		最終面 MF-TOKYO2019 プレイバック (下)	
			7/31		号外 MF-TOKYO 特集号 10ページ	
		ばね新聞	8/1		MF-TOKYO 開幕 ばね関連から多数が出演	ばね新聞社
			8/10		特集ページ MF-TOKYO 出展社フォトロボ	
		日刊自動車新聞	7/26		「MF-TOKYO2019」 31日開幕	日刊自動車新聞社
			8/1		MF-TOKYO2019に254社出展 鍛圧機械の最新技術披露	
金型新聞	7/3	MF-TOKYO2019 塑性加工 最新技術の競演 2ページ	金型新聞社			
レーザ新報 (溶接新報)	5/20	MF-TOKYO2019 第6回プレス・板金・フォーミング展 東京ビッグサイトで開催!	新報			
	7/22	特集号 6ページ				
日刊鉄鋼新聞	8/1	プレス板金フォーミング展開幕	鉄鋼新聞社			
雑誌・機関誌	プレス技術	8月号	特別企画誌上展「MF-TOKYO2019」 76ページ	日刊工業新聞社		
	型技術	8月号	「MF-TOKYO2019 第6回プレス・板金・フォーミング展」ガイド 60ページ			

【広告・広報】

種別	媒体名	掲載日	出稿サイズ	発行・出版元
新聞	日刊工業新聞	2018年7/13号、2019年5/20、7/1、7/29号	カラー 全15段 (1ページ)	日刊工業新聞社
		2018年7/31、8/14、9/17号	モノクロ 全15段 (1ページ)	
		2019年7/25号、会場内配布	企画特集別刷り、14ページ	
	溶接ニュース	2018年7/17号、	モノクロ 5段1/2	産報出版
	レーザ新報	2018年7/23号、2019年5/22、6/19号	モノクロ 5段1/2	新報
	日本物流新聞	2018年7/25号、2019年6/12号	モノクロ 5段1/2	日本物流新聞社
		2019年7/25号	カラー 5段1/2	
	商経機械新聞	2018年7/26号、2019年6/8、7/6号	モノクロ 全5段	商工経済新聞社
	金型新聞	2018年8/10号、2019年7/10号	カラー 全3段	金型新聞社
		2019年6/10号	モノクロ 全3段	
	ばね新聞	2018年7/20号、2019年6/1、7/1号	モノクロ 全6段	ばね新聞社
		号外	カラー 全5段	
	日刊自動車新聞	2019年7/17号	モノクロ 全4段	日刊自動車新聞社
	日経産業新聞	2019年7/30日号	モノクロ 全5段	日本経済新聞社
	産業タイムズ	2019年6/6、6/20号	モノクロ 5段1/2	産業タイムズ社
雑誌・機関誌	塑性と加工	2018年6・7・10・12月号、2019年6・7月号	カラー 1ページ	日本塑性加工学会
			カラー 1ページ	
	型技術	2018年8月号、2019年7月号	モノクロ 1ページ	日刊工業新聞社
		2019年8月号	モノクロ 1ページ	
	プレス技術	2018年9月号、2019年8月号	カラー 1ページ	
		2019年7月号	モノクロ 1ページ	
	機械設計	2019年7・8月号	カラー 1ページ	
	工場管理	2019年6月号	カラー 1ページ	
	機械技術	2019年7・8月号	モノクロ 1ページ	
	工業材料	2019年6・7月号	カラー 1ページ	
		2019年7・8月号	カラー 1ページ	
	レーザインサイド	2018年号	カラー 1ページ	
溶接技術	2019年7月号	カラー 1ページ (前付)	産報出版	

来場動員広告

(日刊工業新聞 全面 2019.7.29付)

第6回 プレス・板金・フォーミング展
MF-TOKYO 2019

いよいよ開催!

金属加工の原点
 「押す」「叩く」「曲げる」の最前線
 日刊工業新聞 電子版
MF-TOKYO 2019 特設サイト 開設!!
 詳しくはコチラから

混雑を避けてじっくり観る「朝イチ」がおすすめ!

WEB事前登録 (展示会場/セミナー聴講) 受付中!!

2019 **7.31 Wed - 8.3 Sat** 9:00~17:00 (8/3のみ16:00まで)
 東京ビッグサイト 西1・2&南1・2ホール

主催 Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

過去最大 出展規模 **254社・団体 1,717小間!** 登録はコチラ → <https://mf-tokyo.jp>

講演会・シンポジウム 観覧・塑性加工の可能性を探る講演会を連日開催 (聴講無料・登録制) 会場 会議棟 1F レセプションホール A・B 定員 各500名

<p>7/31(木) 開幕記念講演</p> <p>14:00~15:00 レセプションホールB</p> <p>テーマ 将来のモビリティ社会に向けた付加価値向上に資する鍛圧技術</p> <p>講師 森下 弘一氏</p>	<p>8/01(木) 特別講演</p> <p>10:00~11:30 レセプションホールA</p> <p>テーマ レーザ加工の真髄を探る - いま、なぜレーザーが -</p> <p>講師 新井 武二氏</p>	<p>8/01(木) シンポジウム</p> <p>14:00~16:00 レセプションホールB</p> <p>テーマ ホットスタンピングは超ハイトの冷間プレス成形の限界を超える</p> <p>講師 森 謙一郎氏</p>	<p>8/02(金) シンポジウム</p> <p>14:00~16:00 レセプションホールB</p> <p>テーマ 自動車製造におけるレーザー加工の最新動向</p> <p>講師 坪井 昭彦氏</p>	<p>8/03(土) 特別講演</p> <p>13:00~14:50 レセプションホールB</p> <p>テーマ モビリティ革命2030 beyond - 自動車産業の針路 -</p> <p>講師 濱田 悠氏</p>
---	---	--	---	---

学会・学術セミナー 日本塑性加工学会をはじめとする各学会(団体)から参加(技術者向け) 会場 会議棟 6F 605 会議室 定員 各150名

<p>7/31(木)</p> <p>9:30 10:10 豊橋技術科学大学 経営学部のプレス成形、塑性加工、板金成形の現状と今後の展望(豊橋技術科学大学 津野 洋平氏)</p> <p>10:20 11:00 川崎重工業 金型レスネットスチング成形技術の現状と今後の展望(川崎重工業 技術開発部 今野 隆夫氏)</p> <p>11:10 11:50 日本製鉄 先端技術開発センター(豊田)のプレス成形技術の現状と今後の展望(日本製鉄 豊田 隆夫氏)</p> <p>13:00 13:40 JFEスチール 鋼材の塑性加工技術の現状と今後の展望(JFEスチール 豊田 隆夫氏)</p> <p>16:00 16:40 アールエス工業 鋼材の塑性加工技術の現状と今後の展望(アールエス工業 豊田 隆夫氏)</p>	<p>8/01(木)</p> <p>9:30 10:10 東京大学 塑性加工の最新動向を探る(東京大学 豊田 隆夫氏)</p> <p>10:20 11:00 東京理科大学 オートメーション・ロボット技術の最新動向を探る(東京理科大学 豊田 隆夫氏)</p> <p>11:10 11:50 東京理科大学 金属材料の最新動向を探る(東京理科大学 豊田 隆夫氏)</p>	<p>8/02(金)</p> <p>9:30 10:10 東京工業大学 塑性加工による製品の品質向上(東京工業大学 豊田 隆夫氏)</p> <p>10:20 11:00 日本大学 プレス成形の最新動向を探る(日本大学 豊田 隆夫氏)</p> <p>11:10 11:50 大阪大学 レーザ加工の最新動向を探る(大阪大学 豊田 隆夫氏)</p> <p>12:00 12:40 豊田 隆夫氏</p>	<p>8/03(土)</p> <p>9:30 10:10 電気通信大学 塑性加工の最新動向を探る(電気通信大学 豊田 隆夫氏)</p> <p>10:20 11:00 名古屋工業大学 塑性加工の最新動向を探る(名古屋工業大学 豊田 隆夫氏)</p> <p>11:10 11:50 日本工業大学 塑性加工の最新動向を探る(日本工業大学 豊田 隆夫氏)</p>
--	---	--	--

来場者募集広告

(商経機械新聞 全5段 2019.7.6付)

第6回 プレス・板金・フォーミング展
MF-TOKYO 2019

つながる技術、ひろがる未来

過去最大 **1,716小間** にて開催

来場事前登録 (レーザ新報 半5段 2019.6.19付)
<https://mf-to>
 会場での受付不要の入場証を

2019 **7.31 Wed - 8.3 Sat** 9:00~17:00 (8/3のみ16:00まで)
 東京ビッグサイト 西1・2&南1・2ホール

主催 Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

来場者募集広告

第6回 プレス・板金・フォーミング展
MF-TOKYO 2019

過去最大 **1,716小間** にて開催

来場事前登録 (レーザ新報 半5段 2019.6.19付)
<https://mf-tokyo.jp>
 会場での受付不要の入場証を発行します

2019 **7.31 Wed - 8.3 Sat** 9:00~17:00 (8/3のみ16:00まで)
 東京ビッグサイト 西1・2&南1・2ホール

主催 Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社

■日刊工業新聞社 ホームページ
 (「MF-TOKYO 2019」公式ホームページ)



■日刊工業新聞社 電子版 MF-TOKYO 2019特設サイト



連載記事

(日刊工業新聞 2019.7.1付)

「MF-TOKYO 2019」は、第6回プレス・組合・フォーミング展として、7月1日(土)～3日(月)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区豊洲)で開催される。今年も、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

MF-TOKYO 2019

つながる技術、ひろがる未来

日本鍛冶機械工業会会長 坂本 雅治氏



製造業の課題解決技術、一堂に

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

記者の目

(日刊工業新聞 2019.7.3付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

(日刊工業新聞 2019.7.2付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

MF-TOKYO 2019

つながる技術、ひろがる未来

コマツ産機社長 北出 安志氏



機械で生産技術をサポート

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

記者の目

(日刊工業新聞 2019.7.4付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

(日刊工業新聞 2019.7.4付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

MF-TOKYO 2019

つながる技術、ひろがる未来

エイチアンドエフ社長 柿本 精一氏



日本電産シンボ社長 西本 達也氏



トルンプ社長 フォルカー・ヤコブセン氏



速度制御など新製品ラッシュ

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

記者の目

(日刊工業新聞 2019.7.5付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

(日刊工業新聞 2019.7.5付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

MF-TOKYO 2019

つながる技術、ひろがる未来

洗合工業上席執行役員 道本 弘和氏



放電精密加工研究所取締役 村田 力氏



ファイバー、拡充続ける

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

複合材プレスに新機種

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

記者の目

(日刊工業新聞 2019.7.5付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

記者の目

(日刊工業新聞 2019.7.5付)

「MF-TOKYO 2019」は、製造業の課題解決技術、一堂に集まる。最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。また、最新のプレス技術や成形技術の展示・発表が行われる。

(日刊工業新聞 2019.7.8付)

第6回 プレス・協会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来 ⑥

サバルパニージャパン社長 松野 雄次氏
「自動・無人化需要に対応」

アミ社長 網野 雅章氏
「加熱鋼材成形、新分野へ」

記者の目
時代はオートマチックにシフト
自動化・無人化の需要は、プレス加工分野でも急激に高まっている。特に自動車分野では、生産効率の向上とコスト削減の観点から、自動化・無人化の導入が進んでいる。また、労働力不足の解消も大きな要因となっている。

(日刊工業新聞 2019.7.9付)

第6回 プレス・協会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来 ⑦

協和マシン社長 吉田 保雄氏
「L曲げ、幅狭ワークに」

阪村機械製作所社長 中野 孝之氏
「作業者の安全」を訴求

記者の目
扱いやすさ、選定の自由度
L曲げ加工は、プレス加工の中でも特に難しいとされている。幅狭ワークへの対応も課題となっている。また、作業者の安全確保も重要なポイントとなっている。

(日刊工業新聞 2019.7.11付)

第6回 プレス・協会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来 ⑧

榎本機工社長 榎本 良夫氏
「CFRTP成形高速化」

コニック社長 大川 雅子氏
「金型、再研磨を不要に」

記者の目
短納期と高機能の両立
CFRTP成形の高速化と、金型の再研磨不要化は、生産効率の向上とコスト削減に大きく貢献する。また、高機能な製品の生産にも対応している。

(日刊工業新聞 2019.7.12付)

第6回 プレス・協会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来 ⑨

三紀精工社長 仙波 勝弘氏
「プレス技術力に自信」

オーセンテック社長 高田 全氏
「得意技で自動化ライン」

記者の目
バリ取り・洗浄、強みを生かす
プレス加工の技術力と、自動化ラインの導入は、生産効率の向上と品質の向上に大きく貢献する。また、バリ取り・洗浄などの得意技を生かしている。

(日刊工業新聞 2019.7.17付)

第6回 プレス・協会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来 ⑩

アイタエンジニアリング取締役 鈴木 利彦氏
「精密プレス、仕上げ不要」

小島鉄工所社長 楠瀬 洋二氏
「鍛造・長尺対応、前面に」

記者の目
要求段の独自分野に強み
精密プレスと鍛造の技術力と、長尺対応の強みは、生産効率の向上と品質の向上に大きく貢献する。また、独自の技術分野にも強みを持っている。

連載記事

(日刊工業新聞 2019.7.18付)

MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

第6回 プレス・報告・フォーミング展

村田機械取締役工作機械事業部長 **今木 圭一郎氏**



用途に応じカスタマイズ

「1.5次元加工」は、従来の2次元加工に比べて、加工精度が大幅に向上し、加工コストも削減できる。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

記者の目

「1.5次元加工」は、従来の2次元加工に比べて、加工精度が大幅に向上し、加工コストも削減できる。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

(日刊工業新聞 2019.7.19付)

MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

第6回 プレス・報告・フォーミング展

日本塑性加工学会学遊委員長 **桑原 利彦氏**

日本鍛造協会専務理事 **村島 善樹氏**

塑性加工の研究内容紹介

「塑性加工」は、金属材料の機械的強度を向上させるための重要な技術である。近年、加工技術の進歩により、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

記者の目

「塑性加工」は、金属材料の機械的強度を向上させるための重要な技術である。近年、加工技術の進歩により、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

(日刊工業新聞 2019.7.22付)

MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

第6回 プレス・報告・フォーミング展

旭サナック社長 **間宮 幹雄氏**

山田下ディー常務工場長 **真野 清二氏**

圧造機で困りごと解決

「圧造機」は、金属材料の機械的強度を向上させるための重要な技術である。近年、加工技術の進歩により、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

記者の目

「圧造機」は、金属材料の機械的強度を向上させるための重要な技術である。近年、加工技術の進歩により、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

(日刊工業新聞 2019.7.23付)

MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

第6回 プレス・報告・フォーミング展

三菱電機執行役員 **水見 徳昭氏**

生産効率化・自動化を提案

「生産効率化・自動化」は、金属材料の機械的強度を向上させるための重要な技術である。近年、加工技術の進歩により、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

記者の目

「生産効率化・自動化」は、金属材料の機械的強度を向上させるための重要な技術である。近年、加工技術の進歩により、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。また、加工後の表面処理も、従来の2次元加工に比べて、大幅に向上している。これにより、加工精度と加工コストの両方を最適化することが可能になった。

(日刊工業新聞 2019.7.24付)

第6回 プレス・機会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

旭精機工業事務 夏目 季佳氏

しのはらプレスサービス 篠原 清人氏

機械の自律機能 提案

記者の目

製造現場の問題解決

記者の目

自動化へ品入りの見直し

記者の目

(日刊工業新聞 2019.7.25付)

第6回 プレス・機会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

ファナック取締役専務執行役員 野田 浩氏

機械の構造 シンプルに

記者の目

自動化へ品入りの見直し

記者の目

(日刊工業新聞 2019.7.26付)

第6回 プレス・機会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

ヤマザキマザック常務執行役員 中西 正純氏

小径パイプ加工 省人化提案

記者の目

市販開拓のリアルな設備

(日刊工業新聞 2019.7.29付)

第6回 プレス・機会・フォーミング展 MF-TOKYO 2019 つながる技術、ひろがる未来

アマダホールディングス社長 磯部 任氏

光制御技術に軸足

記者の目

自動化へ品入りの見直し

記者の目

■出展プレビュー

(日刊工業新聞 2019.7.17付)

(日刊工業新聞 2019.7.18付)

(日刊工業新聞 2019.7.19付)

第6回 プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO 2019
 7月31日(水) 8:30am
 東京ビッグサイト 西1-24(南1-24ホール)
 紙上プレビュー ①

鍛圧機械と塑性加工、レーザー加工の最新技術・製品の専門展示会「MF-TOKYO2019 第6回 プレス・板金・フォーミング展」(日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社主催)が7月31日に東京・有明の東京ビッグサイトで開幕する。主要出展企業の展示内容を紹介します。

3次元フィーダー3割高速化
 ユタニ(大阪府八尾市、072-943-1213)は、従来比33%高速化した3次元トランスファーフィーダー(写真)を出展。プレス間ピッチ2400mm、毎分40回のストロークで同期運転可能。形状に応じて2本バーの両側チャックと上面吸着の2方式が選べ、多様な加工対象物(ワーク)を搬送できる。

鍛造金型向け超硬合金を紹介
 サンアロイ工業(兵庫県福崎町、0790-24-2280)は、鍛造金型用を含む超硬合金(写真)

一度でバーリング・タップ加工
 富士機工(東京都武蔵村山市、042-560-7871)は、バーリング加工とタップ加工を同時に行える「バーリングタップパーニ写真」を出品する。不慣れな作業者でも使いやすい。板1枚当たりの加工数、加工した板枚数をカウントし、プザーで加工忘れを防止する。タップ回転数を制御し、ネジピッチごとのギア調整が不要。

100種類以上の超硬材料を展示
 シルバーロイ(兵庫県原西市、0790-44-0603)は、金型や工具などの材料に使われる超硬材料(写真)を100種類以上展示する。高靱性の冷間圧造用や、磁石製造用など、各用途向けの超硬材料を幅広くそろえた。会場では経験豊富な営業担当者が材料選定やコスト削減といった、来場者からの相談に対応する。

L曲げ加工機に幅対対応機種
 協和マシン(富山県高岡市、0766-63-3805)は、L曲げ加工機「[KMP25FT]」にオ

第6回 プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO 2019
 7月31日(水) 8:30am
 東京ビッグサイト 西1-24(南1-24ホール)
 紙上プレビュー ②

1分以内にハイブリッド成形
 アミノ(静岡県富士宮市、0544-27-0361)は、連続繊維強化熱可塑性プラスチック、長繊維強化熱可塑性プラスチックをメカニカルリンクサーボプレス(写真)で1分以内にハイブリッド成形する実演を行う。独自の油圧制御方式を採用し、1ストロークで多工程成形を実現したマルチアクションプレスの紹介も予定。

高速搬送機、6角形アーム実演
 エイチアンドエフ(福井県あわら市、0776-73-1220)は、車ボデー用の大型プレス機、周辺設備の総合品をそろえ、IoT(モノのインターネット)の新サービスをパネルと動画で見せる。高速搬送装置(ヘキサブローダー写真)のPR用に6分の1サイズの機型を製作。独自の6角形アームの動作を実演する。

ナットや部品、両面検査・選別

第6回 プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO 2019
 7月31日(水) 8:30am
 東京ビッグサイト 西1-24(南1-24ホール)
 紙上プレビュー ③

後工程容易な独社製レベラー
 オーセンテック(相模原市南区、042-701-0285)は、板金の歪みを除去する独アルク製のレベラー「フラットマスター-55」写真)を出展する。切断後の使用で曲げや溶接など後工程が容易になり、加工した製品の品質向上や長寿命化も見込める。精密板金にも小物用のバリ取り機や自動化システムなども展示する。

伊社製ボールネジ転造機実演
 ニッセイ(山梨県大月市、0554-26-6311)は、提供するイタリヤ・エルトの3ダイスコンピュータ数値制御(CNC)転造機「ラジアリ」の転造機カセット(写真)を展示。中空材と中空材のボールネジ転造を実演する。今後、エルトとクロスブランドで両社の製品販売に乗り出して行く。

新型の機械式小型高速プレス
 リール(長野県松本市、0263-330-111)は、加工能力1分間に最大1000個可能な新型の機械式高速プレスシステム「30」写真)を展示。従来のプレス機に比べ、剛性を高めた小型・軽量・高速化した。可能枚数は毎分150回で済む。

(日刊工業新聞 2019.7.22付)

(日刊工業新聞 2019.7.23付)

(日刊工業新聞 2019.7.24付)

(日刊工業新聞 2019.7.25付)

第6回 プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO 2019
 7月31日(水) 8:30am
 東京ビッグサイト 西1-24(南1-24ホール)
 紙上プレビュー ④

ネットシェイブ成形部品紹介
 アイダエンジニアリングは、精密成形プレス機械「U」シリーズ(写真)を活用したFCG工法による機械加工不要のネットシェイブ部品、高速プレス機械「MSP」シリーズ(写真)を使用した電磁溶接(ケイ素鋼板)の抜き関連のネット成形を紹介。事前予約不要のミニセミナーを毎週3回開催。

金型の油塗布用スプレーガン
 扶養精機(東京都文京区、03-3947-1331)は、プレス加工時の油塗布に使われる自動スプレーガン(写真)を展示する。金型や板材に適切な油塗布をすることで、不良率低下、金型の長寿命化、油の消費量削減に寄与。狭い箇所への塗布に有効なロングノズル付きの特殊品も紹介。来場者から個別相談にも対応する。

板金業界の原価・見積計算支援
 ゼロフォア(神奈川県厚木市、046-258-6327)は、製造業向け業務支援ソフトウェア「iQ」シリーズの製品群を紹介する。板金業界向け原価・見積もりソフト「iQ3」写真)は、熟練のスキルが必要な板金加工の見積もり作業が即時算出可能。また新商品として、製出物の見積もりを特化した製品を互玉に据える。

出力12kWのファイバー切断機
 バイストロニクジャパン(東京都武蔵村山市、042-506-8271)は、ファイバーレーザー切断加工機「ByStar3015 Fiber」写真)を出品する。出力12kWのレーザー発振器を搭載、ヘッド部の構成部品点数を削減して、機能を集約。形状デザインをスリム化することで衝突を軽減する。

7割省エネ、CFRPプレス
 三記精工(栃木県足利市、0284-72-2002)は、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)成形用プレス「CFR-1210-20」写真)を出展する。油圧サーボ制御により成形速度・圧力を高精度に制御できる。従来機と比べ消費電力を70%以上削減した。加工能力は200tで、テーブルサイズは横縦1200mm×奥行1000mm。

第6回 プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO 2019
 7月31日(水) 8:30am
 東京ビッグサイト 西1-24(南1-24ホール)
 紙上プレビュー ⑤

楕円形の金型レス成形を披露
 大東スピンニング(群馬県邑楽町、0276-70-2350)は、産業技術総合研究所と共同開発した「リニアスピニング」写真)とX軸とZ軸とを2軸方式で制御する「リニア方式」の「NEW」型スピニングマシン(写真)といったスピニング加工機を出展。加工も実演する。リニアスピニングを使った加工では、楕円(だえん)形の金型レス成形を披露する。

スポット溶接機、使い勝手向上
 向洋技研(相模原市中央区、042-760-4306)は、使い勝手を高めたテーブルトップ溶接機の新機種(写真)を出展する。パナソニックユーザーを刷新し、溶接条件や位置のデータを設定者と作業者で共有できる。定置式スポット溶接機の作業を自動化した後付け可能な装置を多品種少量生産の中小企業向けに提案する。

冷間鍛造向けに潤滑処理装置
 マコー(新潟県長岡市、0258-47-1729)は、冷間鍛造向け潤滑処理装置「WLS」写真)を出展する。潤滑剤塗布エリアを自動洗浄するシステムを搭載し、保守性を高めた。WLSは、研磨材と水を混ぜたスラリーを吹き付け、潤滑剤を付きやすくする。ボンデ処理より環境に優しく省スペースな工法として訴求する。

高効率のパイプ端末加工機
 オスガーマシン(愛知県刈谷市、0566-21-8911)は、拡張・縮管用のパンチがレボリバーのように回転することで多段階の加工をするパイプ端末加工機「OEF」写真)をPRする。省スペースで加工時間を短縮できる。サーボ駆動により加工の自由度も高い。また、切り粉が出ないパイプ切断機「スピンカッター」も紹介する。

ハイテン材を1台・1金型成形
 台湾・協興機械工業(SEYI)は、加工能力200tのサーボプレス機による高強度鋼板(ハイテン材)の成形を披露する。ハイテン材は強度380%。複数のプレス機による成形を1台・1金型に集約する。IoT(モノのインターネット)サービス「SEYI-インテリジェント・マニュファクチャリング・システム」も紹介。

第6回 プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO 2019
 7月31日(水) 8:30am
 東京ビッグサイト 西1-24(南1-24ホール)
 紙上プレビュー ⑥

自動仕分け装置との連携披露
 三菱電機は自社開発の人工知能(AI)とファイバーレーザー発振器を搭載したレーザー加工機「ML3015GX-F80」写真)を出展。同機とスイス製自動仕分け装置「アステス4」を連携した自動化を実演する。村田機械との共同アースとし、両社のIoT(モノのインターネット)関連ソフトウェアが連動する参考展示も行う。

「進化するサーボプレス」実演
 放電精密加工研究所は高精度デジタルサーボプレス「ZENFORMER」シリーズを出展する。「進化するサーボプレスZENFORMER」をテーマにしたクラウド型IoT(モノのインターネット)を高精度金属プレス加工に導入した技術を実演。ロングストロークタイプの最新機種「ZENFORMERトルク」写真)も展示する。

レーザー加工機など新製品
 トルンプ(横浜市緑区、045-931-5710)は、多数の新製品を出品。ファイバー伝送方式のレーザー加工機「トルレーザー-50」写真)は、切断幅を観察しながら材料の汚れなどに応じて速度を最適化する「アクティビティコントロール」を採用した。金型自動交換装置付き曲げ加工機も披露。

自由度高いロボットベンダー
 オプトン(愛知県瀬戸市、0561-48-3381)は、パイプ加工の各種製品を紹介する。「TWI-N18」写真)は、6軸制御ロボットにより中間に干渉物がある加工対象物(ワーク)や板皮でも高速に加工できる。1回で500万力を測定できるターンテーブル付非接触3次元測定機「クラウドフォーマ」も展示する。

電子空圧技術採り入れた電磁弁
 ロス・アジア(相模原市中央区、042-778-7251)は、プレス用ダブルバルブ(複式空気圧電磁弁)に電子空圧技術を取り入れた「ダブルバルブ・DM2」写真)シリーズなどを展示する。同シリーズは国際安全規格「ISO13849-1」の制御カテゴリ-4に適合。冗長性や事故故障診断機能などを併せ持つ。

第6回 プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO 2019
 7月31日(水) 8:30am
 東京ビッグサイト 西1-24(南1-24ホール)
 紙上プレビュー ⑦

46年前の200tプレス機を展示
 三益(神奈川県厚木市、0463-885556)は、パイプの製造に使う「ロードリリガール」写真)を展示する。冷間鍛造機「写真)を誇る。三益は小型で再生素々な点も打ち出す。

一任延機
 三益(神奈川県厚木市、0463-885556)は、パイプの製造に使う「ロードリリガール」写真)を誇る。冷間鍛造機「写真)を誇る。三益は小型で再生素々な点も打ち出す。

チタン合金など縮径加工
 ジャロック(福井県、0776-38-6500)は、チタン合金などの金属材料を縮径加工するコンピュータ数値制御(CNC)式スウェーリング機械「SW-8003」写真)を出展する。最大6%の縮径の材料を5%程度の範囲で自在に縮径できる。冷間鍛造の高精度加工で材料歩留まりが良く、塑性加工による加工硬化で部品強度も高まる。

出力12kWのファイバー発振器
 フナツクはサーボプレス機向け超大型サーボモーター「a1S18000-450HV-B」やビーク電力カット技術、出力12kWのファイバーレーザー発振器(写真)、コンパクトなリモートレーザー溶接ロボットシステムを出展。工場向けIoT(モノのインターネット)基盤「フィールドシステム」や協働ロボットも訴求する。

タレパンベースの複合加工機
 村田機械は31日発売のタレパンベースプレスがベースで、出力30%のファイバーレーザー切断加工機「MF3048HL」写真)を披露する。プレス能力30%、54ステーションのタレット、タッピングユニットなど装備。大口径パンチ、多様な成形、サーボ制御によるタップ加工、バリ取り加工などが行える。

材料傷つけないプレス用フィーダー
 ダイマック(名古屋市中区、052-622-0811)は、プレス機に材料を投入する数値制御(NC)グリッパフィーダー「G11」写真)を出展。材料を傷つけないでスリップなしで材料を傷つけないサーボプレス機の動きに合わせて最適タイミングで投入できる。長尺送りフィーダーの新製品「A64」も披露する。(おわり)

記事

(日刊工業新聞 2019.7.31付)

2019年(令和元年) 7月31日 水曜日

日刊工業新聞

IT・IoTソリューションフォーラム2019 8.27(金) 9.5(土)

2019年(令和元年) 7月31日 水曜日

日刊工業新聞

確かな技術と実績のEMS 株式会社 北部通信工業株式会社

人手不足・米中对立：苦しむ現場

進化する板金系機械

プレス機に「AI」搭載

「高精度」能力10倍

加工時間大幅減

自動化・作業負担を軽減

レーザー加工、制御に重点

ヤマザキマザック

長時間、無人で稼働

最適な条件、AIが割り出す

深層断面

アマダHD 3台の加工機 操作容易に

記事

(日刊工業新聞 2019.8.1付)

2019年(令和元年) 8月1日 木曜日

日刊工業新聞

Nikkan BookStore

MF-TOKYO 2019

現場に寄り添う 技術の深化

ヤマザキマザック

中国・bodor

日本電産シンボ

アマダHD

記事

「MF展」閉幕 3万113人 来場者

塑性加工技術の専門 新聞社主催 は、ははの 展示会「MF-TOKYO」が閉幕した。出展 2019 第6回 社・団体数、小回数、 プレス・板金・ブローも過去最大規模の ミニ展「日本製圧 開催となった今回の展 機工業会、日刊工業 不気は、今期 1 間の

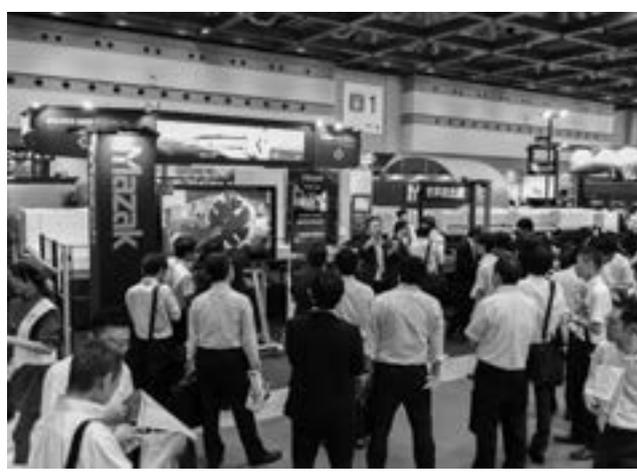
お札 業新聞社が主催した「MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・ブロー」は、ははののうちに無事 開幕しました。後援・協賛の関係諸官庁 団体ならびに出展各社の協力に厚く お礼申し上げます。 日刊工業新聞社

日本製圧機工業会と日刊工 業新聞社が主催した「MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・ブロー」は、ははののうちに無事 開幕しました。後援・協賛の関係諸官庁 団体ならびに出展各社の協力に厚く お礼申し上げます。 日刊工業新聞社

「MF展」閉幕 3万113人 来場者

会場中では炭素繊維強化プラスチック(CFRP)など新素材の加工や、生産性の高い「AI」による加工機など先端技術の展示が来場者の目を引いた。周辺機器の協調制御による自動化生産性向上など、次世代のモノづくりに向けた提案も注目された。今回は2022年の開催を予定している。





「MF-TOKYO 2019 プレス・板金・フォーミング展」会期中の取材報道機関

ShareLab	『ShareLab (試作ポータル)』
アイ・ディーオーデジタル出版	『金型産業情報』
アイティメディア	『MONOist』
アペルザ	『オートメーション新聞』
化学工業日報	『化学工業日報』
金型新聞社	『金型新聞』
金属産業新聞社	『金属産業新聞』
クリエイト日報	『包装タイムス』
産業新聞社	『産業新聞』
産業タイムズ	『工場計画情報』
産報出版	『溶接技術』
産報出版	『溶接ニュース』
潤滑通信社	『潤滑経済』
新農林社	『農機新聞』
新報	『レーザ新報』
素形材通信	『素形材通信』
鉄鋼新聞社	『鉄鋼新聞』
電波新聞社	『電波新聞』
日刊自動車新聞社	『日刊自動車新聞』
日経BP社	『日経ものづくり』
日経BP社	『日経 x TECH (クロステック)』
日本金属通信社	『日本金属通信』
日本経済新聞社	『日本経済新聞』
日本工業出版	『専門雑誌』
日本テクノロジーソリューション	『展示会PRESS』
日本物流新聞社	『日本物流新聞』
ニュースダイジェスト	『生産財マーケティング』
ニュースダイジェスト	『robot digest』
ばね新聞社	『旬刊ばね新聞』
ファスニングジャーナル	『ファスニングジャーナル』
フォームタイムス	『フォームタイムス』
文化放送	『ラジオ放送』
マークライズ	『マークライズ』
マシニスト出版	『Sheetmetal』

発行日 2019年9月

発行 日刊工業新聞社 総合事業局 イベント事業部

「MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・フォーミング展」事務局

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL : 03-5644-7221 FAX : 03-5641-8321

次回開催ご案内
第7回 プレス・板金・フォーミング展
MF-TOKYO
2021

東京ビッグサイトにて開催予定

※詳細は出展要項が出来上がり次第
ご案内させていただきます。

お問い合わせ

●一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3F
TEL : 03-3432-4579 FAX : 03-3432-4804
<https://j-fma.or.jp>

●日刊工業新聞社 総合事業局 イベント事業部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL : 03-5644-7221 FAX : 03-5641-8321
<https://mf-tokyo.jp>